

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	東京工学院専門学校
設置者名	学校法人田中育英会

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数					
課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の授業時数又は単位数	省令で定める授業時数又は基準単位数	配置困難
工業専門課程	電気電子学科 昼間制 (2年制) 電気工学コース		1836 時間	80×2=160時間	1
	電気電子学科 昼間制 (2年制) 電子技術コース		720 時間	80×2=160時間	2
	電気電子学科 昼間制 (2年制) 大学コース		2160 時間	80×2=160時間	3
	航空学科 昼間制 (2年制) パイロットコース		792 時間	80×2=160時間	4
	航空学科 昼間制 (2年制) 大学コース		864 時間	80×2=160時間	5
	建築学科 昼間制 (2年制) 建築設計コース		2250 時間	80×2=160時間	6
	建築学科 昼間制 (2年制) 建築施工コース		2250 時間	80×2=160時間	7
	建築学科 昼間制 (2年制) 情報&環境建築コース		2250 時間	80×2=160時間	8
	建築学科 昼間制 (2年制) 一級建築士・大学コース		2250 時間	80×2=160時間	9
	インテリアデザイン科 昼間制 (2年制) インテリアデザインコース		2052 時間	80×2=160時間	10
	インテリアデザイン科 昼間制 (2年制) 大学コース		2052 時間	80×2=160時間	11
	情報システム科 昼間制 (2年制) ITエンジニアコース		1728 時間	80×2=160時間	12
	情報システム科 昼間制 (2年制) AIシステムコース		1728 時間	80×2=160時間	13
	情報システム科 昼間制 (2年制) ICTクリエイターコース		1728 時間	80×2=160時間	14
	情報システム科 昼間制 (2年制) ITスペシャリスト・大学コース		1980 時間	80×2=160時間	15
	経営情報科 昼間制 (2年制) やりたいことを仕事にするコース		270 時間	80×2=160時間	16
	経営情報科 昼間制 (2年制) マネジメントエキスパートコース		270 時間	80×2=160時間	17
	経営情報科 昼間制 (2年制) SDGsビジネスコース		270 時間	80×2=160時間	18
	経営情報科 昼間制 (2年制) 大学コース		270 時間	80×2=160時間	19
	法律情報科 昼間制 (2年制) 法律情報コース		1440 時間	80×2=160時間	20
	法律情報科 昼間制 (2年制) 大学コース		1440 時間	80×2=160時間	21
	大学併修学科 昼間制 (4年制)		432 時間	80×4=320時間	22

芸術専門課程 (文化教養)	コンサート・イベント科 昼間制 (2年制) イベント企画コース		1476 時間	80×2= 160時間	23
	コンサート・イベント科 昼間制 (2年制) ステージ制作コース		1476 時間	80×2= 160時間	24
	コンサート・イベント科 昼間制 (2年制) ステージ音響コース		1440 時間	80×2= 160時間	25
	コンサート・イベント科 昼間制 (2年制) ステージ照明コース		1440 時間	80×2= 160時間	26
	コンサート・イベント科 昼間制 (2年制) イベントビジネス・大学コース		1728 時間	80×2= 160時間	27
	映像メディア学科 昼間制 (2年制) 放送メディアコース		1692 時間	80×2= 160時間	28
	映像メディア学科 昼間制 (2年制) 動画クリエイターコース		1692 時間	80×2= 160時間	29
	映像メディア学科 昼間制 (2年制) 映像ビジネス・大学コース		1836 時間	80×2= 160時間	30
	音響芸術科 昼間制 (2年制) 音響芸術コース		1710 時間	80×2= 160時間	31
	音響芸術科 昼間制 (2年制) 大学コース		1710 時間	80×2= 160時間	32
	CGクリエイター科 昼間制 (2年制) CGクリエイターコース		1332 時間	80×2= 160時間	33
	CGクリエイター科 昼間制 (2年制) 大学コース		1368 時間	80×2= 160時間	34
	デザイン科 昼間制 (2年制) グラフィックデザインコース		1728 時間	80×2= 160時間	35
	デザイン科 昼間制 (2年制) WEBデザインコース		1764 時間	80×2= 160時間	36
	デザイン科 昼間制 (2年制) 大学コース		2052 時間	80×2= 160時間	37
	声優・演劇科 昼間制 (2年制) 声優コース		1548 時間	80×2= 160時間	38
	声優・演劇科 昼間制 (2年制) 俳優コース		1548 時間	80×2= 160時間	39
	声優・演劇科 昼間制 (2年制) 大学コース		1548 時間	80×2= 160時間	40
	スポーツビジネス科 昼間制 (2年制) スポーツトレーナーコース		2232 時間	80×2= 160時間	41
	スポーツビジネス科 昼間制 (2年制) スポーツインストラクターコース		2016 時間	80×2= 160時間	42
	スポーツビジネス科 昼間制 (2年制) スポーツマネジメントコース		2160 時間	80×2= 160時間	43
	スポーツビジネス科 昼間制 (2年制) サッカーエキスパートコース		2772 時間	80×2= 160時間	44
	スポーツビジネス科 昼間制 (2年制) 大学コース		2736 時間	80×2= 160時間	45
	ミュージック科 昼間制 (2年制) ヴォーカル&シンガーソングライターコース		2268 時間	80×2= 160時間	46
	ミュージック科 昼間制 (2年制) プレイヤーコース		1476 時間	80×2= 160時間	47
	ミュージック科 昼間制 (2年制) サウンドデザイナーコース		1800 時間	80×2= 160時間	48
	ミュージック科 昼間制 (2年制) 大学コース		2844 時間	80×2= 160時間	49
	ゲームクリエイター科 昼間制 (2年制) ゲームクリエイターコース		1728 時間	80×2= 160時間	50
	ゲームクリエイター科 昼間制 (2年制) おもちゃクリエイターコース		1728 時間	80×2= 160時間	51
	ゲームクリエイター科 昼間制 (2年制) 大学コース		1440 時間	80×2= 160時間	52
	アニメ・マンガ科 昼間制 (2年制) アニメーションコース		1764 時間	80×2= 160時間	53
	アニメ・マンガ科 昼間制 (2年制) マンガコース		1764 時間	80×2= 160時間	54
アニメ・マンガ科 昼間制 (2年制) イラストレーションコース		1764 時間	80×2= 160時間	55	
アニメ・マンガ科 昼間制 (2年制) 大学コース		2772 時間	80×2= 160時間	56	

教育・福祉 専門課程	教育専攻科 昼間制 (4年制) 幼稚園教諭1種コース		5472 時間	80×4= 320時間	57	
	教育専攻科 昼間制 (4年制) 小学校教諭1種コース		5652 時間	80×4= 320時間	58	
	教育専攻科 昼間制 (4年制) 保健体育教諭1種コース		2376 時間	80×4= 320時間	59	
	こども学科 昼間制 (3年制) こども英語コース		3312 時間	80×3= 240時間	60	
	こども学科 昼間制 (3年制) こども音楽コース		3312 時間	80×3= 240時間	61	
	こども学科 昼間制 (3年制) こどもスポーツコース		3924 時間	80×3= 240時間	62	
	こども学科 昼間制 (3年制) 大学コース		3816 時間	80×3= 240時間	63	
	こども学科 昼間制 (3年制) 保育士・幼稚園教諭2種コース		3744 時間	80×3= 240時間	64	
	幼児保育学科 昼間制 (2年制) 保育士・幼稚園教諭2種コース		3204 時間	80×2= 160時間	65	
	幼児保育学科 昼間制 (2年制) 大学コース		3276 時間	80×2= 160時間	66	
	公務員科 昼間制 (2年制) 公務員コース		684 時間	80×2= 160時間	67	
	公務員科 昼間制 (2年制) 大学コース		756 時間	80×2= 160時間	68	
	備考: こども学科 保育士・幼稚園教諭2種コース 3年生のみ					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

HPにて授業科目一覧を公開。授業科目一覧の中で、教員の実務経験に関するチェック欄に○あり。
(掲載：<https://www.technosac.jp/departament/syllabus/>)

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	東京工学院専門学校
設置者名	学校法人田中育英会

1. 理事（役員）名簿の公表方法

HPにて理事名簿を公開している (掲載： https://www.technosac.jp/department/syllabus/)

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	大学名誉教授	2020/4/1- 2025/3/31	教育全般に対する提案・指導・チェックや、大学関連者との橋渡しを期待する。
非常勤	飲食関連顧問	2020/4/1- 2025/3/31	飲食関連をはじめ、ホテルや観光関連に関する知見を元に関連教育へ生かしていただく。
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	東京工学院専門学校
設置者名	学校法人田中育英会

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>研究科(1年制)、電気電子学科(2年制)、航空学科(2年制)、建築学科(2年制)、インテリアデザイン科(2年制)、情報システム科(2年制)、経営情報科(2年制)、法律情報科(2年制)、大学併修学科(4年制)、コンサート・イベント科(2年制)、映像メディア学科(2年制)、音響芸術科(2年制)、CGクリエイター科(2年制)、デザイン科(2年制)、声優・演劇科(2年制)、スポーツビジネス科(2年制)、ミュージック科(2年制)、ゲームクリエイター科(2年制)、アニメ・マンガ科(2年制)、教育専攻科(4年制)、こども学科(3年制)、幼児保育学科(2年制)、公務員科(2年制)</p> <p>〔作成について〕</p> <p>各授業科目については毎年度系部長会議により授業科目の設定・講義内容についての検討・検証に基づき各授業を担当する教員が作成する。</p> <p>授業科目名、必要時間数、担当教員名、到達目標・テーマ、講義内容、授業計画、成績評価方法、教科書等に関する事項は全科目共通で記載することが必須であり学内統一様式でシラバスを作成している。</p> <p>〔時期について〕</p> <p>翌年度の講義予定は12月～1月に担当教員が作成し、3月の理事会で承認を受ける。3月中に翌年度分のシラバスをHPに公開している。</p>	
授業計画書の公表方法	https://www.technosac.jp/department/syllabus/
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>「学則」「学生生活のしおり」において成績評価、履修について規定している。</p> <p>各学科で定める授業科目の試験(レポート、小テスト等を含む)により成績評価を行っている。</p> <p><参考></p> <p>学則第21条 校長は教育課程の定めるところにより、修了すべき教科目を試験等による評価のうえ修了したと認める者には当該教科目の修了を認定する。</p> <p>学生生活のしおり</p> <p>(掲載：https://www.technosac.jp/current/)</p> <p>V-1-6 成績評価</p> <p>(1) 成績は定期試験、小テスト、レポート、提出物、学習態度、出席率の総合評価によって決定される。</p>	

<p>3. 成績評価において、G P A等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p> <p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要) 成績評価においてはG P Aを導入し、学内の成績評価として使用している。 G P Aは学生の履修した科目あたりの平均成績を指す。 本校では独自奨学金、学業優秀者の選考資料として教員会議で活用している。 学業成績は授業科目ごとに行う試験（定期試験、小テスト、レポート等）によって評価される。評価点数により100～90点をS、89点～80点をA、79点～70点をB、69点～60点をCとして通知する。</p> <p>成績評価方法についてはHPで公開するほか、学生生活のしおりに掲載し入学時オリエンテーションで新入生に通知している。</p>	
<p>客観的な指標の算出方法の公表方法</p>	<p>HPへの掲載 https://www.technosac.jp/department/syllabus/</p>
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p> <p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>東京工学院専門学校は人生100年時代で多様化する社会に対応するため専門性・人間力・総合力の本質的な力を持った「本物の職業人」を育成することを目的としている。 卒業要件については各学科定める所定の全授業科目を所定の年次に全て合格する事を定めている。詳細についてはディプロマポリシーはじめ学則、学生生活のしおりに掲載しており、HPに公表している。</p>	
<p>卒業の認定に関する方針の公表方法</p>	<p>HPへの掲載 https://www.technosac.jp/department/syllabus/</p>

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	東京工学院専門学校
設置者名	学校法人田中育英会

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	HPへの掲載 https://www.technosac.jp/department/syllabus/
収支計算書又は損益計算書	同上
財産目録	同上
事業報告書	同上
監事による監査報告（書）	法人本部にて閲覧可能

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
工業		工業専門課程	電気電子学科 昼間制 (2年制) 電気工学コース	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1728 単位時間	2232 単位時間	0 単位時間	2268 単位時間	0 単位時間	0 単位時間
			単位時間				
生徒総定員数 (電気電子学科の内 数)		生徒実員	うち留学生数	専任教員数 (電気電子学科の内 数)	兼任教員数 (電気電子学科の内 数)	総教員数 (電気電子学科 の内数)	
80人		3人	0人	1人	12人	13人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照
学修支援等
(概要) 専門分野に留まらず、総合力・人間力を身につけるカリキュラムが充実している。総合学院としてのメリットを最大限に活かし、複数学科が協働して授業以外のプログラムにも力を入れている。例えば、学生組織で動く「学院祭」や「オープンキャンパス」も学生が主体性やチャレンジ精神、課題解決力を醸成する機会である。また、学生が普段学んでいる事柄を社会や地域に活かしていく学習機会を作り、常に世の中を意識することを教えている。加えて、毎年10校の海外姉妹校から留学生と教授を迎えて学院全体で国際交流をする「インターナショナルウィーク」を始め、多数の海外研修プログラム、常に英語でコミュニケーションをとることができるティーチングアシスタントが常駐しているなど、学生が日常的にグローバルな価値観を吸収できる環境作りにも力を入れている。

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士			
工業	工業専門課程	電気電子学科 昼間制 (2年制) 電子技術コース	○				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1728 単位時間	2376 単位時間	0 単位時間	2268 単位時間	0 単位時間	0 単位時間
			単位時間				
生徒総定員数 (電気電子学科の内 数)	生徒実員	うち留学生数	専任教員数 (電気電子学科の内 数)	兼任教員数 (電気電子学科の内 数)	総教員数 (電気電子学科 の内数)		
80人	0人	0人	1人	12人	13人		

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画) (概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法 (概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準 (概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照
学修支援等 (概要) 専門分野に留まらず、総合力・人間力を身につけるカリキュラムが充実している。総合学院としてのメリットを最大限に活かし、複数学科が協働して授業以外のプログラムにも力を入れている。例えば、学生組織で動く「学院祭」や「オープンキャンパス」も学生が主体性やチャレンジ精神、課題解決力を醸成する機会である。また、学生が普段学んでいる事柄を社会や地域に活かしていく学習機会を作り、常に世の中を意識することを教えている。加えて、毎年10校の海外姉妹校から留学生と教授を迎えて学院全体で国際交流をする「インターナショナルウィーク」を始め、多数の海外研修プログラム、常に英語でコミュニケーションをとることができるティーチングアシスタントが常駐しているなど、学生が日常的にグローバルな価値観を吸収できる環境作りにも力を入れている。

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士			
工業	工業専門課程	電気電子学科 昼間制 (2年制) 大学コース	○				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1728 単位時間	2448 単位時間	0 単位時間	2268 単位時間	0 単位時間	0 単位時間
			単位時間				
生徒総定員数 (電気電子学科の内 数)	生徒実員	うち留学生数	専任教員数 (電気電子学科の内 数)	兼任教員数 (電気電子学科の内 数)	総教員数 (電気電子学科 の内数)		
80人	2人	0人	1人	12人	13人		

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照
学修支援等
(概要) 専門分野に留まらず、総合力・人間力を身につけるカリキュラムが充実している。総合学院としてのメリットを最大限に活かし、複数学科が協働して授業以外のプログラムにも力を入れている。例えば、学生組織で動く「学院祭」や「オープンキャンパス」も学生が主体性やチャレンジ精神、課題解決力を醸成する機会である。また、学生が普段学んでいる事柄を社会や地域に活かしていく学習機会を作り、常に世の中を意識することを教えている。加えて、毎年10校の海外姉妹校から留学生と教授を迎えて学院全体で国際交流をする「インターナショナルウィーク」を始め、多数の海外研修プログラム、常に英語でコミュニケーションをとることができるティーチングアシスタントが常駐しているなど、学生が日常的にグローバルな価値観を吸収できる環境作りにも力を入れている。

2022年度 電気電子学科として

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
7人 (100%)	0人 (0%)	7人 (100%)	0人 (0%)
(主な就職、業界等) NDK 電設株式会社 ミノシマ株式会社 ユーコーポレーション 株式会社ベジアート 札幌市交通事業振興公社（サービス部門） 日本電設工業株式会社			
(就職指導内容) キャリアセンター主導により、入学直後からキャリアガイダンスを開始し、自分自身の理解、社会の理解、働くことへの意識付けを行う。また、就職模擬試験を始め、一般常識対策・適性試験対策（SPI）・集団及び個人面接・グループディスカッションなどの指導はもちろん、小論文や履歴書添削も行い万全のバックアップ体制をとっている。			
(主な学修成果（資格・検定等）) ・ 第三種電気主任技術者 ・ 第一種電気工事士 ・ 第二種電気工事士			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
10人	2人	20.0%
(中途退学の主な理由) ・ 進路変更の為・出席不良からの成業不可		
(中退防止・中退者支援のための取組) 担任はもちろん、講師の先生にも協力を仰ぎ、情報共有の徹底を心掛けながら学生指導に取り組んでいる。学生たちの遅刻・欠席・授業態度など彼らの些細なメッセージを見逃さないようにしている。1年に2回以上の個人面接を実施し、学習意欲や学生生活全般の聞き取りを行っている。また、スクールカウンセラーが常駐しており、学生自らがカウンセリングを受けることができる。		

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士			
工業	工業専門課程	航空学科 昼間制 (2年制) パイロットコース	○				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1728 単位時間	1404 単位時間	0 単位時間	432 単位時間	0 単位時間	0 単位時間
			単位時間				
生徒総定員数 (航空学科の内数)	生徒実員	うち留学生数	専任教員数 (航空学科の内数)	兼任教員数 (航空学科の内数)	総教員数 (航空学科の内数)		
40人	2人	0人	1人	11人	12人		

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照
学修支援等
(概要) 専門分野に留まらず、総合力・人間力を身につけるカリキュラムが充実している。総合学院としてのメリットを最大限に活かし、複数学科が協働して授業以外のプログラムにも力を入れている。例えば、学生組織で動く「学院祭」や「オープンキャンパス」も学生が主体性やチャレンジ精神、課題解決力を醸成する機会である。また、学生が普段学んでいる事柄を社会や地域に活かしていく学習機会を作り、常に世の中を意識することを教えている。加えて、毎年10校の海外姉妹校から留学生と教授を迎えて学院全体で国際交流をする「インターナショナルウィーク」を始め、多数の海外研修プログラム、常に英語でコミュニケーションをとることができるティーチングアシスタントが常駐しているなど、学生が日常的にグローバルな価値観を吸収できる環境作りにも力を入れている。

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士			
工業	工業専門課程	航空学科 昼間制 (2年制) 大学コース	○				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1728 単位時間	1620 単位時間	0 単位時間	432 単位時間	0 単位時間	0 単位時間
			単位時間				
生徒総定員数 (航空学科の内数)	生徒実員	うち留学生数	専任教員数 (航空学科の内数)	兼任教員数 (航空学科の内数)	総教員数 (航空学科の内 数)		
40人	0人	0人	1人	14人	15人		

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照
学修支援等
(概要) 専門分野に留まらず、総合力・人間力を身につけるカリキュラムが充実している。総合学院としてのメリットを最大限に活かし、複数学科が協働して授業以外のプログラムにも力を入れている。例えば、学生組織で動く「学院祭」や「オープンキャンパス」も学生が主体性やチャレンジ精神、課題解決力を醸成する機会である。また、学生が普段学んでいる事柄を社会や地域に活かしていく学習機会を作り、常に世の中を意識することを教えている。加えて、毎年10校の海外姉妹校から留学生と教授を迎えて学院全体で国際交流をする「インターナショナルウィーク」を始め、多数の海外研修プログラム、常に英語でコミュニケーションをとることができるティーチングアシスタントが常駐しているなど、学生が日常的にグローバルな価値観を吸収できる環境作りにも力を入れている。

2022年度 航空学科として

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
4人 (100%)	0人 (0%)	4人 (100%)	0人 (0%)
(主な就職、業界等) 自衛隊（航空） ビッグモーター株式会社			
(就職指導内容) キャリアセンター主導により、入学直後からキャリアガイダンスを開始し、自分自身の理解、社会の理解、働くことへの理解への意識付けを行う。また、就職模擬試験を始め、一般常識対策・適性試験対策（SPI）・集団及び個人面接・グループディスカッションなどの指導はもちろん、小論文や履歴書添削も行い万全のバックアップ体制をとっている。			
(主な学修成果（資格・検定等）) ・ビジネス能力検定（B検）ジョブパス 2・3級			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
5人	0人	0%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組) 担任はもちろん、講師の先生にも協力を仰ぎ、情報共有の徹底を心掛けながら学生指導に取り組んでいる。学生たちの遅刻・欠席・授業態度など彼らの些細なメッセージを見逃さないようにしている。1年に2回以上の個人面接を実施し、学習意欲や学生生活全般の聞き取りを行っている。また、スクールカウンセラーが常駐しており、学生自らがカウンセリングを受けることができる。		

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士			
工業	工業専門課程	建築学科 昼間制 (2年制) 建築設計コース	○				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	2376 単位時間	1188 単位時間	342 単位時間	1944 単位時間	0 単位時間	0 単位時間
			単位時間				
生徒総定員数 (建築学科の内数)	生徒実員	うち留学生数	専任教員数 (建築学科の内数)	兼任教員数 (建築学科の内数)	総教員数 (建築学科の内数)		
80人	9人	1人	1人	16人	17人		

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照
学修支援等
(概要) ・授業時間外での特別講座の開催 ・特別講座期間を活用して学修支援授業の実施 ・個別面談、スクールカウンセリングの実施

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士			
工業	工業専門課程	建築学科 昼間制 (2年制) 建築施工コース	○				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	2376 単位時間	1188 単位時間	342 単位時間	1944 単位時間	0 単位時間	0 単位時間
			単位時間				
生徒総定員数 (建築学科の内数)	生徒実員	うち留学生数	専任教員数 (建築学科の内数)	兼任教員数 (建築学科の内数)	総教員数 (建築学科の内 数)		
80人	4人	0人	1	16人	17人		

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照
学修支援等
(概要) ・授業時間外での特別講座の開催 ・特別講座期間を活用して学修支援授業の実施 ・個別面談、スクールカウンセリングの実施

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士			
工業	工業専門課程	建築学科 昼間制 (2年制) 情報&環境建築コース	○				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	2376 単位時間	1188 単位時間	342 単位時間	1944 単位時間	0 単位時間	0 単位時間
			単位時間				
生徒総定員数 (建築学科の内数)	生徒実員	うち留学生数	専任教員数 (建築学科の内数)	兼任教員数 (建築学科の内数)	総教員数 (建築学科の内 数)		
80人	1人	0人	1人	16人	17人		

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照
学修支援等
(概要) ・授業時間外での特別講座の開催 ・特別講座期間を活用して学修支援授業の実施 ・個別面談、スクールカウンセリングの実施

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士			
工業	工業専門課程	建築学科 昼間制 (2年制) 大学コース	○				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	2376 単位時間	1188 単位時間	342 単位時間	1944 単位時間	0 単位時間	0 単位時間
			単位時間				
生徒総定員数 (建築学科の内数)	生徒実員	うち留学生数	専任教員数 (建築学科の内数)	兼任教員数 (建築学科の内数)	総教員数 (建築学科の内 数)		
80人	3人	0人	1人	16人	17人		

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画) (概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法 (概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準 (概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照
学修支援等 (概要) ・授業時間外での特別講座の開催 ・特別講座期間を活用して学修支援授業の実施 ・個別面談、スクールカウンセリングの実施

2022年度 建築学科として

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
13人 (100%)	4人 (30.8%)	9人 (69.2%)	0人 (0%)
(主な就職、業界等) カーライン、サンエイ工業 サカイ研創 サンエム ライフ設計 市毛建築設計事務所 木下工務店 濱田工業 陸上自衛隊			
(就職指導内容) 個人面談、学内企業説明会開催、試験対策講座（SPI・一般常識）、マナー講座、エントリーシート・履歴書添削、模擬面接等			
(主な学修成果（資格・検定等）) 建築2級施工管理技士（学科合格）、建築CAD検定、商業施設士補、積算士補			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
25人	1人	4.0%
(中途退学の主な理由) 経済的理由		
(中退防止・中退者支援のための取組) 担任はもちろん、講師の先生にも協力を仰ぎ、情報共有の徹底を心掛けながら学生指導に取り組んでいる。学生たちの遅刻・欠席・授業態度など彼らの些細なメッセージを見逃さないようにしている。1年に2回以上の個人面接を実施し、学習意欲や学生生活全般の聞き取りを行っている。また、スクールカウンセラーが常駐しており、学生自らがカウンセリングを受けることができる。		

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士			
工業	工業専門課程	インテリアデザイン科 昼間制 (2年制) インテリアデザインコース	○				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1728 単位時間	936 単位時間	504 単位時間	1008 単位時間	0 単位時間	0 単位時間
生徒総定員数 (インテリアデザイン 科の内数)	生徒実員	うち留学生数	専任教員数 (インテリアデザイ ン科の内数)	兼任教員数 (インテリアデザイ ン科の内数)	総教員数 (インテリアデ ザイン科の内 数)		
40人	8人	0人	1人	10人	11人		

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照
学修支援等
(概要) 専門分野に留まらず、総合力・人間力を身につけるカリキュラムが充実している。総合学院としてのメリットを最大限に活かし、複数学科が協働して授業以外のプログラムにも力を入れている。例えば、学生組織で動く「学院祭」や「オープンキャンパス」も学生が主体性やチャレンジ精神、課題解決力を醸成する機会である。また、学生が普段学んでいる事柄を社会や地域に活かしていく学習機会を作り、常に世の中を意識することを教えている。加えて、毎年10校の海外姉妹校から留学生と教授を迎えて学院全体で国際交流をする「インターナショナルウィーク」を始め、多数の海外研修プログラム、常に英語でコミュニケーションをとることができるティーチングアシスタントが常駐しているなど、学生が日常的にグローバルな価値観を吸収できる環境作りにも力を入れている。

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士			
工業	工業専門課程	インテリアデザイン科 昼間制 (2年制) 大学コース	○				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1728 単位時間	1152 単位時間	504 単位時間	1008 単位時間	0 単位時間	0 単位時間
			単位時間				
生徒総定員数 (インテリアデザイン 科の内数)	生徒実員	うち留学生数	専任教員数 (インテリアデザイ ン科の内数)	兼任教員数 (インテリアデザイ ン科の内数)	総教員数 (インテリアデザイ ン科の内 数)		
40人	2人	0人	1人	10人	11人		

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照
学修支援等
(概要) 専門分野に留まらず、総合力・人間力を身につけるカリキュラムが充実している。総合学院としてのメリットを最大限に活かし、複数学科が協働して授業以外のプログラムにも力を入れている。例えば、学生組織で動く「学院祭」や「オープンキャンパス」も学生が主体性やチャレンジ精神、課題解決力を醸成する機会である。また、学生が普段学んでいる事柄を社会や地域に活かしていく学習機会を作り、常に世の中を意識することを教えている。加えて、毎年10校の海外姉妹校から留学生と教授を迎えて学院全体で国際交流をする「インターナショナルウィーク」を始め、多数の海外研修プログラム、常に英語でコミュニケーションをとることができるティーチングアシスタントが常駐しているなど、学生が日常的にグローバルな価値観を吸収できる環境作りにも力を入れている。

2022年度 インテリアデザイン科として

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
3人 (100%)	2人 (66.7%)	0人 (%)	1人 (33.3%)
(主な就職、業界等)			
(就職指導内容) 個キャリアセンター主導により、入学直後からキャリアガイダンスを開始し、自分自身の理解、社会の理解、働くことへの意識付けを行う。また、就職模擬試験を始め、一般常識対策・適性試験対策（SPI）・集団及び個人面接・グループディスカッションなどの指導はもちろん、小論文や履歴書添削も行い万全のバックアップ体制をとっている。			
(主な学修成果（資格・検定等）) インテリアコーディネーター、建築CAD検定、色彩士、商業施設士補、積算士補			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
9	1人	11.1%
(中途退学の主な理由) 出席不良からの成業不可		
(中退防止・中退者支援のための取組) 担任はもちろん、講師の先生にも協力を仰ぎ、情報共有の徹底を心掛けながら学生指導に取り組んでいる。学生たちの遅刻・欠席・授業態度など彼らの些細なメッセージを見逃さないようにしている。1年に2回以上の個人面接を実施し、学習意欲や学生生活全般の聞き取りを行っている。また、スクールカウンセラーが常駐しており、学生自らがカウンセリングを受けることができる。		

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士			
工業	工業専門課程	情報システム科 昼間制 (2年制) ITエンジニアコース	○				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1728 単位時間	828 単位時間	396 単位時間	1260 単位時間	0 単位時間	0 単位時間
生徒総定員数 (情報システム科の内 数)	生徒実員	うち留学生数	専任教員数 (情報システム科の 内数)	兼任教員数 (情報システム科の 内数)	総教員数 (情報システム 科の内数)		
80人	9人	1人	2人	13人	15人		

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画) (概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法 (概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準 (概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照
学修支援等 (概要) 科目ごとに半期で中間評価を提示し、学年末に総合評価を行う。授業外でプリント・解答練習などで資格取得のサポートを行っている。学生生活指導については、適宜必要に応じて担任・副担任により行い、学生からの相談・面談も随時行う。学内PBLプログラムの紹介など、意欲のある学生への積極的な学習支援を行っている。また、就職指導についてはキャリアセンタと連携して、希望する職種への就職をサポートしている。

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士			
工業	工業専門課程	情報システム科 昼間制 (2年制) AIシステムコース	○				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1728 単位時間	828 単位時間	396 単位時間	1404 単位時間	0 単位時間	0 単位時間
			単位時間				
生徒総定員数 (情報システム科の内 数)	生徒実員	うち留学生数	専任教員数 (情報システム科の 内数)	兼任教員数 (情報システム科の 内数)	総教員数 (情報システム 科の内数)		
80人	1人	0人	2人	13人	15人		

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照
学修支援等
(概要) 科目ごとに半期で中間評価を提示し、学年末に総合評価を行う。授業外でプリント・解答練習などで資格取得のサポートを行っている。学生生活指導については、適宜必要に応じて担任・副担任により行い、学生からの相談・面談も随時行う。学内PBLプログラムの紹介など、意欲のある学生への積極的な学習支援を行っている。また、就職指導についてはキャリアセンタと連携して、希望する職種への就職をサポートしている。

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士			
工業	工業専門課程	情報システム科 昼間制 (2年制) ICT クリエーターコース	○				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1728 単位時間	828 単位時間	396 単位時間	1332 単位時間	0 単位時間	0 単位時間
生徒総定員数 (情報システム科の内 数)	生徒実員	うち留学生数	専任教員数 (情報システム科の 内数)	兼任教員数 (情報システム科の 内数)	総教員数 (情報システム 科の内数)		
80人	2人	0人	2人	13人	15人		

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画) (概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法 (概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準 (概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照
学修支援等 (概要) 科目ごとに半期で中間評価を提示し、学年末に総合評価を行う。授業外でプリント・解答練習などで資格取得のサポートを行っている。学生生活指導については、適宜必要に応じて担任・副担任により行い、学生からの相談・面談も随時行う。学内PBLプログラムの紹介など、意欲のある学生への積極的な学習支援を行っている。また、就職指導についてはキャリアセンタと連携して、希望する職種への就職をサポートしている。

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士			
工業	工業専門課程	情報システム科 昼間制 (2年制) ITスペシャリスト・大学コース	○				
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1728 単位時間	1044 単位時間	396 単位時間	1404 単位時間	0 単位時間	0 単位時間
生徒総定員数 (情報システム科の内 数)	生徒実員	うち留学生数	専任教員数 (情報システム科の 内数)	兼任教員数 (情報システム科の 内数)	総教員数 (情報システム 科の内数)		
80人	25人	1人	2人	13人	15人		

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照
学修支援等
(概要) 科目ごとに半期中間評価を提示し、学年末に総合評価を行う。授業外でプリント・解答練習などで資格取得のサポートを行っている。学生生活指導については、適宜必要に応じて担任・副担任により行い、学生からの相談・面談も随時行う。学内PBLプログラムの紹介など、意欲のある学生への積極的な学習支援を行っている。また、就職指導についてはキャリアセンタと連携して、希望する職種への就職をサポートしている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
17人 (100%)	3人 (17.6%)	14人 (82.4%)	0人 (0%)
<p>（主な就職、業界等）</p> <p>システム開発企業 ソフトウェア開発企業 CLINKS 株式会社 TDC ソフト株式会社 株式会社マイナビ edge 株式会社 FunClock 株式会社ジャコム 株式会社バッファロー 株式会社ミロク情報サービス 大成技研株式会社、</p>			
<p>（就職指導内容）</p> <p>キャリアセンター主導により、入学直後からキャリアガイダンスを開始し、自分自身の理解、社会の理解、働くことへの意識付けを行う。また、就職模擬試験を始め、一般常識対策・適性試験対策（SPI）・集団及び個人面接・グループディスカッションなどの指導はもちろん、小論文や履歴書添削も行い万全のバックアップ体制をとっている。</p>			
<p>（主な学修成果（資格・検定等））</p> <p>情報処理技術者試験（ITパスポート・基本情報技術者） 情報検定（情報活用検定2級・3級）、ビジネス能力検定2級・3級など ジェネラリスト検定</p>			
<p>（備考）（任意記載事項）</p>			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
42人	8人	19.0%
<p>（中途退学の主な理由）</p> <p>体調不良 進路変更 出席不良からの成業不可</p>		
<p>（中退防止・中退者支援のための取組）</p> <p>担任はもちろん、講師の先生にも協力を仰ぎ、情報共有の徹底を心掛けながら学生指導に取り組んでいる。学生たちの遅刻・欠席・授業態度など彼らの些細なメッセージを見逃さないようにしている。1年に2回以上の個人面接を実施し、学習意欲や学生生活全般の聞き取りを行っている。また、スクールカウンセラーが常駐しており、学生自らがカウンセリングを受けることができる。</p>		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
工業		工業専門課程	経営情報科 昼間制 (2年制) やりたいことを仕事にする コース	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1728 単位時間	1620 単位時間	0 単位時間	180 単位時間		
			単位時間				
生徒総定員数 (経営情報科の内数)		生徒実員	うち留学生数	専任教員数 (経営情報科の内数)	兼任教員数 (経営情報科の内 数)	総教員数 (経営情報科の 内数)	
60人		2人	0人	2人	10人	12人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照
学修支援等
(概要) 専門分野に留まらず、総合力・人間力を身につけるカリキュラムが充実している。総合学院としてのメリットを最大限に活かし、複数学科が協働して授業以外のプログラムにも力を入れている。例えば、学生組織で動く「学院祭」や「オープンキャンパス」も学生が主体性やチャレンジ精神、課題解決力を醸成する機会である。また、学生が普段学んでいる事柄を社会や地域に活かしていく学習機会を作り、常に世の中を意識することを教えている。加えて、毎年10校の海外姉妹校から留学生と教授を迎えて学院全体で国際交流をする「インターナショナルウィーク」を始め、多数の海外研修プログラム、常に英語でコミュニケーションをとることができるティーチングアシスタントが常駐しているなど、学生が日常的にグローバルな価値観を吸収できる環境作りにも力を入れている。

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士			
工業	工業専門課程	経営情報科 昼間制 (2年制) マネジメントエススパート コース	○				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1728 単位時間	1620 単位時間	0 単位時間	324 単位時間	0 単位時間	0 単位時間
生徒総定員数 (経営情報科の内数)	生徒実員	うち留学生数	専任教員数 (経営情報科の内数)	兼任教員数 (経営情報科の内 数)	総教員数 (経営情報科の内 数)		
60人	2人	1人	2人	10人	12人		

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照
学修支援等
(概要) 専門分野に留まらず、総合力・人間力を身につけるカリキュラムが充実している。総合学院としてのメリットを最大限に活かし、複数学科が協働して授業以外のプログラムにも力を入れている。例えば、学生組織で動く「学院祭」や「オープンキャンパス」も学生が主体性やチャレンジ精神、課題解決力を醸成する機会である。また、学生が普段学んでいる事柄を社会や地域に活かしていく学習機会を作り、常に世の中を意識することを教えている。加えて、毎年10校の海外姉妹校から留学生と教授を迎えて学院全体で国際交流をする「インターナショナルウィーク」を始め、多数の海外研修プログラム、常に英語でコミュニケーションをとることができるティーチングアシスタントが常駐しているなど、学生が日常的にグローバルな価値観を吸収できる環境作りにも力を入れている。

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士			
工業	工業専門課程	経営情報科 昼間制 (2年制) SDGs ビジネスコース	○				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1728 単位時間	1620 単位時間	0 単位時間	324 単位時間	0 単位時間	0 単位時間
			単位時間				
生徒総定員数 (経営情報科の内数)	生徒実員	うち留学生数	専任教員数 (経営情報科の内数)	兼任教員数 (経営情報科の内数)	総教員数 (経営情報科の内数)		
60人	0人	0人	2人	10人	12人		

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画) (概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法 (概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準 (概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照
学修支援等 (概要) 専門分野に留まらず、総合力・人間力を身につけるカリキュラムが充実している。総合学院としてのメリットを最大限に活かし、複数学科が協働して授業以外のプログラムにも力を入れている。例えば、学生組織で動く「学院祭」や「オープンキャンパス」も学生が主体性やチャレンジ精神、課題解決力を醸成する機会である。また、学生が普段学んでいる事柄を社会や地域に活かしていく学習機会を作り、常に世の中を意識することを教えている。加えて、毎年10校の海外姉妹校から留学生と教授を迎えて学院全体で国際交流をする「インターナショナルウィーク」を始め、多数の海外研修プログラム、常に英語でコミュニケーションをとることができるティーチングアシスタントが常駐しているなど、学生が日常的にグローバルな価値観を吸収できる環境作りにも力を入れている。

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士			
工業	工業専門課程	経営情報科 昼間制 (2年制) 大学コース	○				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1728 単位時間	1836 単位時間	0 単位時間	324 単位時間	0 単位時間	0 単位時間
			単位時間				
生徒総定員数 (経営情報科の内数)	生徒実員	うち留学生数	専任教員数 (経営情報科の内数)	兼任教員数 (経営情報科の内 数)	総教員数 (経営情報科の 内数)		
60人	9人	1人	2人	10人	12人		

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画) (概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法 (概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準 (概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照
学修支援等 (概要) 専門分野に留まらず、総合力・人間力を身につけるカリキュラムが充実している。総合学院としてのメリットを最大限に活かし、複数学科が協働して授業以外のプログラムにも力を入れている。例えば、学生組織で動く「学院祭」や「オープンキャンパス」も学生が主体性やチャレンジ精神、課題解決力を醸成する機会である。また、学生が普段学んでいる事柄を社会や地域に活かしていく学習機会を作り、常に世の中を意識することを教えている。加えて、毎年10校の海外姉妹校から留学生と教授を迎えて学院全体で国際交流をする「インターナショナルウィーク」を始め、多数の海外研修プログラム、常に英語でコミュニケーションをとることができるティーチングアシスタントが常駐しているなど、学生が日常的にグローバルな価値観を吸収できる環境作りにも力を入れている。

2022年度 経営情報科として

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
18人 (100%)	13人 (72.2%)	3人 (16.7%)	2人 (11.1%)
(主な就職、業界等) ムカイワークス株式会社 株式会社アール・エム 自衛隊			
(就職指導内容) キャリアセンター主導により、入学直後からキャリアガイダンスを開始し、自分自身の理解、社会の理解、働くことへの意識付けを行う。また、就職模擬試験を始め、一般常識対策・適性試験対策（SPI）・集団及び個人面接・グループディスカッションなどの指導はもちろん、小論文や履歴書添削も行い万全のバックアップ体制をとっている。			
(主な学修成果（資格・検定等）) リテール・マーケティング（販売士）検定試験、全経簿記能力検定試験、日本語能力試験、Microsoft Office Specialist、簿記検定、FP技能検定、ビジネス能力検定ジョブパス、マナー・プロトコール検定試験			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
32人	7人	21.9%
(中途退学の主な理由) ・本国家庭の事情により帰国 ・進路変更（進学、就職、起業）		
(中退防止・中退者支援のための取組) 担任はもちろん、講師の先生にも協力を仰ぎ、情報共有の徹底を心掛けながら学生指導に取り組んでいる。学生たちの遅刻・欠席・授業態度など彼らの些細なメッセージを見逃さないようにしている。1年に2回以上の個人面接を実施し、学習意欲や学生生活全般の聞き取りを行っている。また、スクールカウンセラーが常駐しており、学生自らがカウンセリングを受けることができる。		

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士			
工業	工業専門課程	法律情報科 昼間制 (2年制) 法律情報コース	○				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1728 単位時間	5760 単位時間	0 単位時間	36 単位時間	0 単位時間	0 単位時間
			単位時間				
生徒総定員数 (法律情報科の内数)	生徒実員	うち留学生数	専任教員数 (法律情報科の内 数)	兼任教員数 (法律情報科の内 数)	総教員数 (法律情報科の内 数)		
60人	2人	1人	1人	15人	16人		

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照
学修支援等
(概要) 専門分野に留まらず、総合力・人間力を身につけるカリキュラムが充実している。総合学院としてのメリットを最大限に活かし、複数学科が協働して授業以外のプログラムにも力を入れている。例えば、学生組織で動く「学院祭」や「オープンキャンパス」も学生が主体性やチャレンジ精神、課題解決力を醸成する機会である。また、学生が普段学んでいる事柄を社会や地域に活かしていく学習機会を作り、常に世の中を意識することを教えている。加えて、毎年10校の海外姉妹校から留学生と教授を迎えて学院全体で国際交流をする「インターナショナルウィーク」を始め、多数の海外研修プログラム、常に英語でコミュニケーションをとることができるティーチングアシスタントが常駐しているなど、学生が日常的にグローバルな価値観を吸収できる環境作りにも力を入れている。

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士			
工業	工業専門課程	法律情報科 昼間制 (2年制) 大学コース	○				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1728 単位時間	5976 単位時間	0 単位時間	36 単位時間	0 単位時間	0 単位時間
			単位時間				
生徒総定員数 (法律情報科の内数)	生徒実員	うち留学生数	専任教員数 (法律情報科の内 数)	兼任教員数 (法律情報科の内 数)	総教員数 (法律情報科の 内数)		
60人	8人	1人	1人	15人	16人		

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画) (概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法 (概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準 (概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照
学修支援等 (概要) 専門分野に留まらず、総合力・人間力を身につけるカリキュラムが充実している。総合学院としてのメリットを最大限に活かし、複数学科が協働して授業以外のプログラムにも力を入れている。例えば、学生組織で動く「学院祭」や「オープンキャンパス」も学生が主体性やチャレンジ精神、課題解決力を醸成する機会である。また、学生が普段学んでいる事柄を社会や地域に活かしていく学習機会を作り、常に世の中を意識することを教えている。加えて、毎年10校の海外姉妹校から留学生と教授を迎えて学院全体で国際交流をする「インターナショナルウィーク」を始め、多数の海外研修プログラム、常に英語でコミュニケーションをとることができるティーチングアシスタントが常駐しているなど、学生が日常的にグローバルな価値観を吸収できる環境作りにも力を入れている。

2022年度 法律情報科として

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
15人 (100%)	14人 (93.3%)	1人 (6.7%)	0人 (0%)
(主な就職、業界等) 株式会社イディアライズコーポレーション（不動産業）			
(就職指導内容) キャリアセンター主導により、入学直後からキャリアガイダンスを開始し、自分自身の理解、社会の理解、働くことの理解への意識付けを行う。また、就職模擬試験を始め、一般常識対策・適性試験対策（SPI）・集団及び個人面接・グループディスカッションなどの指導はもちろん、小論文や履歴書添削も行い万全のバックアップ体制をとっている。			
(主な学修成果（資格・検定等）) 宅地建物取引士資格試験、全経簿記検定試験、Microsoft Office Specialist 試験、マナー・プロトコール検定試験			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
21人	0人	0%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組) 担任はもちろん、講師の先生にも協力を仰ぎ、情報共有の徹底を心掛けながら学生指導に取り組んでいる。学生たちの遅刻・欠席・授業態度など彼らの些細なメッセージを見逃さないようにしている。1年に2回以上の個人面接を実施し、学習意欲や学生生活全般の聞き取りを行っている。また、スクールカウンセラーが常駐しており、学生自らがカウンセリングを受けることができる。		

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士			
工業	工業専門課程	大学併修学科 昼間制 (4年制)		○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
4年	昼	3 4 5 6 単位時間	5616 単位時間	0 単位時間	504 単位時間	0 単位時間	0 単位時間
			単位時間				
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
160人	219人	47人	2人	11人	13人		

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照
学修支援等
(概要) クラス担任制 各種資格対策授業の支援 キャリアセンターと担任による就職支援 カウンセラーによるサポート 海外研修・留学支援 大学(通信教育課程)科目のレポート・科目修得試験の支援

2022年度 大学併修学科として

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
106人 (100%)	0人 (0%)	97人 (91.5%)	9人 (8.5%)
（主な就職、業界等） 株式会社エステム建築事務所 あいおいニッセイ同和損保 ビックカメラ ヨドバシカメラ 高崎信用金庫 日本システムデータ株式会社 富士ソフト株式会社 日立グローバルライフソリューションズ 株式会社NTT ドコモ 弁護士法人ベリーベスト 他			
（就職指導内容） 就職ガイダンス、個人指導及び就職対策講座、実践指導（模擬面接・会社訪問指導） をホームルームとキャリアセンターと共同で実施			
（主な学修成果（資格・検定等）） 簿記検定、リテール・マーケティング販売士検定、ビジネス能力検定（B検）、 Microsoft Office Specialist、宅地建物取引士、行政書士			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
253人	16人	6.3%
（中途退学の主な理由） 進路変更（進学、就職） 体調不良（精神疾患） 経済的な問題		
（中退防止・中退者支援のための取組） 担任はもちろん、講師の先生にも協力を仰ぎ、情報共有の徹底を心掛けながら学生指導に取り組んでいる。学生たちの遅刻・欠席・授業態度など彼らの些細なメッセージを見逃さないようにしている。1年に2回以上の個人面接を実施し、学習意欲や学生生活全般の聞き取りを行っている。また、スクールカウンセラーが常駐しており、学生自らがカウンセリングを受けることができる。		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化教養		芸術専門課程	コンサート・イベント科 昼間制 (2年制) ステージ制作コース	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1728 単位時間	1908 単位時間	0 単位時間	1080 単位時間	0 単位時間	0 単位時間
			単位時間				
生徒総定員数 (コンサート・イベント 科の内数)		生徒実員	うち留学生数	専任教員数 (コンサート・イベ ント科の内数)	兼任教員数 (コンサート・イベ ント科の内数)	総教員数 (コンサート・イ ベント科の内数)	
120人		9人	0人	2人	30人	32人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照
学修支援等
(概要) 専門分野に留まらず、総合力・人間力を身につけるカリキュラムが充実している。総合学院としてのメリットを最大限に活かし、複数学科が協働して授業以外のプログラムにも力を入れている。例えば、学生組織で動く「学院際」や「オープンキャンパス」も学生が主体性やチャレンジ精神、課題解決力を醸成する機会である。また、学生が普段学んでいる事柄を社会や地域に活かしていく学習機会を作り、常に世の中を意識することを教えている。加えて、毎年10校の海外姉妹校から留学生と教授を迎えて学院全体で国際交流をする「インターナショナルウィーク」を始め、多数の海外研修プログラム、常に英語でコミュニケーションをとることができるティーチングアシスタントが常駐しているなど、学生が日常的にグローバルな価値観を吸収できる環境作りにも力を入れている。

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士			
文化教養	芸術専門課程	コンサート・イベント科 昼間制 (2年制) ステージ音響コース	○				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1728 単位時間	1908 単位時間	0 単位時間	1080 単位時間	0 単位時間	0 単位時間
			単位時間				
生徒総定員数 (コンサート・イベン ト科の内数)	生徒実員	うち留学生数	専任教員数 (コンサート・イベン ト科の内数)	兼任教員数 (コンサート・イベ ント科の内数)	総教員数 (コンサート・イ ベント科の内数)		
120人	4人	0人	2人	30人	32人		

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照
学修支援等
(概要) 専門分野に留まらず、総合力・人間力を身につけるカリキュラムが充実している。総合学院としてのメリットを最大限に活かし、複数学科が協働して授業以外のプログラムにも力を入れている。例えば、学生組織で動く「学院際」や「オープンキャンパス」も学生が主体性やチャレンジ精神、課題解決力を醸成する機会である。また、学生が普段学んでいる事柄を社会や地域に活かしていく学習機会を作り、常に世の中を意識することを教えている。加えて、毎年10校の海外姉妹校から留学生と教授を迎えて学院全体で国際交流をする「インターナショナルウィーク」を始め、多数の海外研修プログラム、常に英語でコミュニケーションをとることができるティーチングアシスタントが常駐しているなど、学生が日常的にグローバルな価値観を吸収できる環境作りにも力を入れている。

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士			
文化教養	芸術専門課程	コンサート・イベント科 昼間制 (2年制) ステージ照明コース	○				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1728 単位時間	1908 単位時間	0 単位時間	1080 単位時間	0 単位時間	0 単位時間
			単位時間				
生徒総定員数 (コンサート・イベン ト科の内数)	生徒実員	うち留学生数	専任教員数 (コンサート・イベン ト科の内数)	兼任教員数 (コンサート・イベ ント科の内数)	総教員数 (コンサート・イ ベント科の内数)		
120人	5人	0人	2人	30人	32人		

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照
学修支援等
(概要) 専門分野に留まらず、総合力・人間力を身につけるカリキュラムが充実している。総合学院としてのメリットを最大限に活かし、複数学科が協働して授業以外のプログラムにも力を入れている。例えば、学生組織で動く「学院際」や「オープンキャンパス」も学生が主体性やチャレンジ精神、課題解決力を醸成する機会である。また、学生が普段学んでいる事柄を社会や地域に活かしていく学習機会を作り、常に世の中を意識することを教えている。加えて、毎年10校の海外姉妹校から留学生と教授を迎えて学院全体で国際交流をする「インターナショナルウィーク」を始め、多数の海外研修プログラム、常に英語でコミュニケーションをとることができるティーチングアシスタントが常駐しているなど、学生が日常的にグローバルな価値観を吸収できる環境作りにも力を入れている。

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士			
文化教養	芸術専門課程	コンサート・イベント科 昼間制 (2年制) イベント企画コース	○				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1728 単位時間	1908 単位時間	0 単位時間	1080 単位時間	0 単位時間	0 単位時間
			単位時間				
生徒総定員数 (コンサート・イベン ト科の内数)	生徒実員	うち留学生数	専任教員数 (コンサート・イベン ト科の内数)	兼任教員数 (コンサート・イベ ント科の内数)	総教員数 (コンサート・イ ベント科の内数)		
120人	6人	0人	2人	30人	32人		

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照
学修支援等
(概要) 専門分野に留まらず、総合力・人間力を身につけるカリキュラムが充実している。総合学院としてのメリットを最大限に活かし、複数学科が協働して授業以外のプログラムにも力を入れている。例えば、学生組織で動く「学院際」や「オープンキャンパス」も学生が主体性やチャレンジ精神、課題解決力を醸成する機会である。また、学生が普段学んでいる事柄を社会や地域に活かしていく学習機会を作り、常に世の中を意識することを教えている。加えて、毎年10校の海外姉妹校から留学生と教授を迎えて学院全体で国際交流をする「インターナショナルウィーク」を始め、多数の海外研修プログラム、常に英語でコミュニケーションをとることができるティーチングアシスタントが常駐しているなど、学生が日常的にグローバルな価値観を吸収できる環境作りにも力を入れている。

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士			
文化教養	芸術専門課程	コンサート・イベント科 昼間制 (2年制) イベントビジネス・大学 コース	○				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1728 単位時間	2124 単位時間	0 単位時間	1080 単位時間	0 単位時間	0 単位時間
生徒総定員数 (コンサート・イベン ト科の内数)	生徒実員	うち留学生数	専任教員数 (コンサート・イベ ント科の内数)	兼任教員数 (コンサート・イベ ント科の内数)	総教員数 (コンサート・イ ベント科の内数)		
120人	19人	0人	2人	30人	32人		

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照
学修支援等
(概要) 専門分野に留まらず、総合力・人間力を身につけるカリキュラムが充実している。総合学院としてのメリットを最大限に活かし、複数学科が協働して授業以外のプログラムにも力を入れている。例えば、学生組織で動く「学院際」や「オープンキャンパス」も学生が主体性やチャレンジ精神、課題解決力を醸成する機会である。また、学生が普段学んでいる事柄を社会や地域に活かしていく学習機会を作り、常に世の中を意識することを教えている。加えて、毎年10校の海外姉妹校から留学生と教授を迎えて学院全体で国際交流をする「インターナショナルウィーク」を始め、多数の海外研修プログラム、常に英語でコミュニケーションをとることができるティーチングアシスタントが常駐しているなど、学生が日常的にグローバルな価値観を吸収できる環境作りにも力を入れている。

2022年度 コンサート・イベント科として

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
33人 (100%)	8人 (24.2%)	24人 (72.7%)	1人 (3.0%)
<p>（主な就職、業界等）</p> <p>音楽イベント業界（Suncrow 株式会社 ICL 株式会社 KM ステーション 株式会社 RATEL 株式会社ダイジョブス 株式会社トマトジュースデザイン 株式会社ハイウェイスター 株式会社バンケットプランニング 株式会社ブラスト 株式会社フルスペック 株式会社ロックフィールド株式会社天成園 株式会社東京三光 日本照明株式会社 ヨドバシカメラ）他</p>			
<p>（就職指導内容）</p> <p>キャリアセンター主導により、入学直後からキャリアガイダンスを開始し、自分自身の理解、社会の理解、働くことの理解への意識付けを行う。また、就職模擬試験を始め、一般常識対策・適性試験対策（SPI）・集団及び個人面接・グループディスカッションなどの指導はもちろん、小論文や履歴書添削も行い万全のバックアップ体制をとっている。</p>			
<p>（主な学修成果（資格・検定等））</p> <p>マナー・プロトコル検定、足場組立等作業、フルハーネス型墜落制止用器具</p>			
<p>（備考）（任意記載事項）</p>			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
67人	8人	11.9%
<p>（中途退学の主な理由）</p> <p>体調不良（精神疾患） 出席不良からの成業不可</p>		
<p>（中退防止・中退者支援のための取組）</p> <p>担任・副担任はもちろん、講師の先生にも協力を仰ぎ、情報共有の徹底を心掛けながら学生指導に取り組んでいる。学生たちの遅刻・欠席・授業態度など彼らの些細なメッセージを見逃さないようにしている。1年に2回以上の個人面接を実施し、学習意欲や学生生活全般の聞き取りを行っている。また、スクールカウンセラーが常駐しており、学生自らがカウンセリングを受けることができる。</p>		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化教養		芸術専門課程	映像メディア学科 昼間制 (2年制) 放送メディアコース	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1728 単位時間	2736 単位時間	0 単位時間	1512 単位時間	0 単位時間	0 単位時間
			単位時間				
生徒総定員数 (映像メディア科の内 数)		生徒実員	うち留学生数	専任教員数 (映像メディア科の 内数)	兼任教員数 (映像メディア科の 内数)	総教員数 (映像メディア 科の内数)	
60人		6人	0人	1人	11人	12人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照
学修支援等
(概要) 専門分野に留まらず、総合力・人間力を身につけるカリキュラムが充実している。総合学院としてのメリットを最大限に活かし、複数学科が協働して授業以外のプログラムにも力を入れている。例えば、学生組織で動く「学院際」や「オープンキャンパス」も学生が主体性やチャレンジ精神、課題解決力を醸成する機会である。また、学生が普段学んでいる事柄を社会や地域に活かしていく学習機会を作り、常に世の中を意識することを教えている。加えて、毎年10校の海外姉妹校から留学生と教授を迎えて学院全体で国際交流をする「インターナショナルウィーク」を始め、多数の海外研修プログラム、常に英語でコミュニケーションをとることができるティーチングアシスタントが常駐しているなど、学生が日常的にグローバルな価値観を吸収できる環境作りにも力を入れている。

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士			
文化教養	芸術専門課程	映像メディア学科 昼間制 (2年制) 動画クリエイターコース	○				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1728 単位時間	2736 単位時間	0 単位時間	1512 単位時間	0 単位時間	0 単位時間
			単位時間				
生徒総定員数 (映像メディア科の内 数)	生徒実員	うち留学生数	専任教員数 (映像メディア科の 内数)	兼任教員数 (映像メディア科の 内数)	総教員数 (映像メディア 科の内数)		
60人	13人	0人	1人	11人	12人		

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照
学修支援等
(概要) 専門分野に留まらず、総合力・人間力を身につけるカリキュラムが充実している。総合学院としてのメリットを最大限に活かし、複数学科が協働して授業以外のプログラムにも力を入れている。例えば、学生組織で動く「学院際」や「オープンキャンパス」も学生が主体性やチャレンジ精神、課題解決力を醸成する機会である。また、学生が普段学んでいる事柄を社会や地域に活かしていく学習機会を作り、常に世の中を意識することを教えている。加えて、毎年10校の海外姉妹校から留学生と教授を迎えて学院全体で国際交流をする「インターナショナルウィーク」を始め、多数の海外研修プログラム、常に英語でコミュニケーションをとることができるティーチングアシスタントが常駐しているなど、学生が日常的にグローバルな価値観を吸収できる環境作りにも力を入れている。

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士			
文化教養	芸術専門課程	映像メディア学科 昼間制 (2年制) 映像ビジネス・大学コース	○				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1728 単位時間	2952 単位時間	0 単位時間	1512 単位時間	0 単位時間	0 単位時間
			単位時間				
生徒総定員数 (映像メディア科の内 数)	生徒実員	うち留学生数	専任教員数 (映像メディア科の 内数)	兼任教員数 (映像メディア科の 内数)	総教員数 (映像メディア 科の内数)		
60人	12人	0人	1人	11人	12人		

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照
学修支援等
(概要) 専門分野に留まらず、総合力・人間力を身につけるカリキュラムが充実している。総合学院としてのメリットを最大限に活かし、複数学科が協働して授業以外のプログラムにも力を入れている。例えば、学生組織で動く「学院際」や「オープンキャンパス」も学生が主体性やチャレンジ精神、課題解決力を醸成する機会である。また、学生が普段学んでいる事柄を社会や地域に活かしていく学習機会を作り、常に世の中を意識することを教えている。加えて、毎年10校の海外姉妹校から留学生と教授を迎えて学院全体で国際交流をする「インターナショナルウィーク」を始め、多数の海外研修プログラム、常に英語でコミュニケーションをとることができるティーチングアシスタントが常駐しているなど、学生が日常的にグローバルな価値観を吸収できる環境作りにも力を入れている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
※2022年度 映像メディア学科の状況			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
0人 （%）	0人 （%）	0人 （%）	0人 （%）
（主な就職、業界等）			
<p>（就職指導内容）</p> <p>キャリアセンター主導により、入学直後からキャリアガイダンスを開始し、自分自身の理解、社会の理解、働くことの理解への意識付けを行う。また、就職模擬試験を始め、一般常識対策・適性試験対策（SPI）・集団及び個人面接・グループディスカッションなどの指導はもちろん、小論文や履歴書添削も行い万全のバックアップ体制をとっている。</p>			
<p>（主な学修成果（資格・検定等））</p> <p>マナー・プロトコル検定、映像音響処理技術者資格認定試験、足場の組立て等作業従事者特別教育、フルハーネス型墜落制止用器具特別教育</p>			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状 ※2022年度 映像メディア学科の状況		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
19人	0人	0%
（中途退学の主な理由）		
<p>（中退防止・中退者支援のための取組）</p> <p>担任・副担任はもちろん、講師の先生にも協力を仰ぎ、情報共有の徹底を心掛けながら学生指導に取り組んでいる。学生たちの遅刻・欠席・授業態度など彼らの些細なメッセージを見逃さないようにしている。1年に2回以上の個人面接を実施し、学習意欲や学生生活全般の聞き取りを行っている。また、スクールカウンセラーが常駐しており、学生自らがカウンセリングを受けることができる。</p>		

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
※2022年度 放送芸術科の状況			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
13人 (100%)	6人 (46.2%)	5人 (38.5%)	2人 (15.4%)
<p>（主な就職、業界等）</p> <p>放送業界（ヌーベルキャリア株式会社 株式会社アウトソーシング 株式会社テレバイダー・エンターテインメント 株式会社マーベル）他 海外でのフリーランス活動</p>			
<p>（就職指導内容）</p> <p>キャリアセンター主導により、入学直後からキャリアガイダンスを開始し、自分自身の理解、社会の理解、働くことへの意識付けを行う。また、就職模擬試験を始め、一般常識対策・適性試験対策（SPI）・集団及び個人面接・グループディスカッションなどの指導はもちろん、小論文や履歴書添削も行い万全のバックアップ体制をとっている。</p>			
<p>（主な学修成果（資格・検定等））</p> <p>マナー・プロトコル検定、映像音響処理技術者資格認定試験、足場の組立て等作業従事者特別教育、フルハーネス型墜落制止用器具特別教育</p>			
<p>（備考）（任意記載事項）</p>			

中途退学の現状 ※2022年度 放送芸術科の状況		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
13人	0人	0%
<p>（中途退学の主な理由）</p>		
<p>（中退防止・中退者支援のための取組）</p> <p>担任・副担任はもちろん、講師の先生にも協力を仰ぎ、情報共有の徹底を心掛けながら学生指導に取り組んでいる。学生たちの遅刻・欠席・授業態度など彼らの些細なメッセージを見逃さないようにしている。1年に2回以上の個人面接を実施し、学習意欲や学生生活全般の聞き取りを行っている。また、スクールカウンセラーが常駐しており、学生自らがカウンセリングを受けることができる。</p>		

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士			
文化教養	芸術専門課程	音響芸術科 昼間制 (2年制) 音響芸術コース	○				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1728 単位時間	270 単位時間	0 単位時間	1800 単位時間	0 単位時間	0 単位時間
			単位時間				
生徒総定員数 (音響芸術科の内数)	生徒実員	うち留学生数	専任教員数 (音響芸術科の内 数)	兼任教員数 (音響芸術科の内 数)	総教員数 (音響芸術科の 内数)		
80人	19人	0人	2人	12人	14人		

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照
学修支援等
(概要) 専門分野に留まらず、総合力・人間力を身につけるカリキュラムが充実している。総合学院としてのメリットを最大限に活かし、複数学科が協働して授業以外のプログラムにも力を入れている。例えば、学生組織で動く「学院際」や「オープンキャンパス」も学生が主体性やチャレンジ精神、課題解決力を醸成する機会である。また、学生が普段学んでいる事柄を社会や地域に活かしていく学習機会を作り、常に世の中を意識することを教えている。加えて、毎年10校の海外姉妹校から留学生と教授を迎えて学院全体で国際交流をする「インターナショナルウィーク」を始め、多数の海外研修プログラム、常に英語でコミュニケーションをとることができるティーチングアシスタントが常駐しているなど、学生が日常的にグローバルな価値観を吸収できる環境作りにも力を入れている。

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士			
文化教養	芸術専門課程	音響芸術科 昼間制 (2年制) 大学コース	○				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1728 単位時間	486単 位時間	0 単位時間	1800 単位時間	0 単位時間	0 単位時間
			単位時間				
生徒総定員数 (音響芸術科の内数)	生徒実員	うち留学生数	専任教員数 (音響芸術科の内 数)	兼任教員数 (音響芸術科の内 数)	総教員数 (音響芸術科の 内数)		
80人	9人	0人	2人	12人	14人		

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照
学修支援等
(概要) 専門分野に留まらず、総合力・人間力を身につけるカリキュラムが充実している。総合学院としてのメリットを最大限に活かし、複数学科が協働して授業以外のプログラムにも力を入れている。例えば、学生組織で動く「学院際」や「オープンキャンパス」も学生が主体性やチャレンジ精神、課題解決力を醸成する機会である。また、学生が普段学んでいる事柄を社会や地域に活かしていく学習機会を作り、常に世の中を意識することを教えている。加えて、毎年10校の海外姉妹校から留学生と教授を迎えて学院全体で国際交流をする「インターナショナルウィーク」を始め、多数の海外研修プログラム、常に英語でコミュニケーションをとることができるティーチングアシスタントが常駐しているなど、学生が日常的にグローバルな価値観を吸収できる環境作りにも力を入れている。

2022年度 音響芸術科として

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
23人 (100%)	11人 (47.8%)	5人 (21.7%)	7人 (30.4%)
（主な就職、業界等） 音響関連 株式会社アクスティカ・ファブリコ 株式会社ヌーベルキャリア 株式会社バンケット・プランニング 他			
（就職指導内容） キャリアセンター主導により、入学直後からキャリアガイダンスを開始し、自分自身の理解、社会の理解、働くことへの意識付けを行う。また、就職模擬試験を始め、一般常識対策・適性試験対策（SPI）・集団及び個人面接・グループディスカッションなどの指導はもちろん、小論文や履歴書添削も行い万全のバックアップ体制をとっている。			
（主な学修成果（資格・検定等）） マナー・プロトコール検定、映像音響処理技術者資格認定試験、サウンドレコーディング技術認定試験、Pro Tool 技術認定試験			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
39人	2人	5.1%
（中途退学の主な理由） 就職 体調不良（精神疾患）		
（中退防止・中退者支援のための取組） 担任・副担任はもちろん、講師の先生にも協力を仰ぎ、情報共有の徹底を心掛けながら学生指導に取り組んでいる。学生たちの遅刻・欠席・授業態度など彼らの些細なメッセージを見逃さないようにしている。1年に2回以上の個人面接を実施し、学習意欲や学生生活全般の聞き取りを行っている。また、スクールカウンセラーが常駐しており、学生自らがカウンセリングを受けることができる。		

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士			
文化教養	芸術専門課程	CGクリエイター科 昼間制 (2年制) CGクリエイターコース	○				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1728 単位時間	252 単位時間	0 単位時間	7344 単位時間	0 単位時間	0 単位時間
生徒総定員数 (CGクリエイター科 の内数)	生徒実員	うち留学生数	専任教員数 (CGクリエイター 科の内数)	兼任教員数 (CGクリエイター 科の内数)	総教員数 (CGクリエイター科の内数)		
60人	4人	0人	1人	7人	8人		

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画) (概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法 (概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準 (概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照
学修支援等 (概要) 専門分野に留まらず、総合力・人間力を身につけるカリキュラムが充実している。総合学院としてのメリットを最大限に活かし、複数学科が協働して授業以外のプログラムにも力を入れている。例えば、学生組織で動く「学院祭」や「オープンキャンパス」も学生が主体性やチャレンジ精神、課題解決力を醸成する機会である。また、学生が普段学んでいる事柄を社会や地域に活かしていく学習機会を作り、常に世の中を意識することを教えている。加えて、毎年10校の海外姉妹校から留学生と教授を迎えて学院全体で国際交流をする「インターナショナルウィーク」を始め、多数の海外研修プログラム、常に英語でコミュニケーションをとることができるティーチングアシスタントが常駐しているなど、学生が日常的にグローバルな価値観を吸収できる環境作りにも力を入れている。

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士			
文化教養	芸術専門課程	CGクリエイター科 昼間制 (2年制) 大学コース	○				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1728 単位時間	468 単位時間	0 単位時間	7344 単位時間	0 単位時間	0 単位時間
			単位時間				
生徒総定員数 (CGクリエイター科 の内数)	生徒実員	うち留学生数	専任教員数 (CGクリエイター 科の内数)	兼任教員数 (CGクリエイター 科の内数)	総教員数 (CGクリエイター科の内数)		
60人	11人	0人	1人	7人	8人		

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照
学修支援等
(概要) 専門分野に留まらず、総合力・人間力を身につけるカリキュラムが充実している。総合学院としてのメリットを最大限に活かし、複数学科が協働して授業以外のプログラムにも力を入れている。例えば、学生組織で動く「学院祭」や「オープンキャンパス」も学生が主体性やチャレンジ精神、課題解決力を醸成する機会である。また、学生が普段学んでいる事柄を社会や地域に活かしていく学習機会を作り、常に世の中を意識することを教えている。加えて、毎年10校の海外姉妹校から留学生と教授を迎えて学院全体で国際交流をする「インターナショナルウィーク」を始め、多数の海外研修プログラム、常に英語でコミュニケーションをとることができるティーチングアシスタントが常駐しているなど、学生が日常的にグローバルな価値観を吸収できる環境作りにも力を入れている。

2022年度 CGクリエイター科として

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
14人 (100%)	2人 (14.3%)	5人 (35.7%)	7人 (50.0%)
（主な就職、業界等） StartIT 合同会社 東海ビジネスサービス株式会社			
（就職指導内容） キャリアセンター主導により、入学直後からキャリアガイダンスを開始し、自分自身の理解、社会の理解、働くことへの意識付けを行う。また、就職模擬試験を始め、一般常識対策・適性試験対策（SPI）・集団及び個人面接・グループディスカッションなどの指導はもちろん、小論文や履歴書添削も行い万全のバックアップ体制をとっている。			
（主な学修成果（資格・検定等）） 色彩検定3級			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
25人	3人	12.0%
（中途退学の主な理由） 進路変更 出席不良からの成業不可		
（中退防止・中退者支援のための取組） 担任はもちろん、講師の先生にも協力を仰ぎ、情報共有の徹底を心掛けながら学生指導に取り組んでいる。学生たちの遅刻・欠席・授業態度など彼らの些細なメッセージを見逃さないようにしている。1年に2回以上の個人面接を実施し、学習意欲や学生生活全般の聞き取りを行っている。また、スクールカウンセラーが常駐しており、学生自らがカウンセリングを受けることができる。		

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士			
文化教養	芸術専門課程	デザイン科 昼間制 (2年制) グラフィックデザインコース	○				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1728 単位時間	414 単位時間	108 単位時間	20880 単位時間	0 単位時間	0 単位時間
生徒総定員数 (デザイン科の内数)	生徒実員	うち留学生数	専任教員数 (デザイン科の内数)	兼任教員数 (デザイン科の内数)	総教員数 (デザイン科の内数)		
100人	8人	0人	1人	13人	14人		

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照
学修支援等
(概要) 専門分野に留まらず、総合力・人間力を身につけるカリキュラムが充実している。総合学院としてのメリットを最大限に活かし、複数学科が協働して授業以外のプログラムにも力を入れている。例えば、学生組織で動く「学院際」や「オープンキャンパス」も学生が主体性やチャレンジ精神、課題解決力を醸成する機会である。また、学生が普段学んでいる事柄を社会や地域に活かしていく学習機会を作り、常に世の中を意識することを教えている。加えて、毎年10校の海外姉妹校から留学生と教授を迎えて学院全体で国際交流をする「インターナショナルウィーク」を始め、多数の海外研修プログラム、常に英語でコミュニケーションをとることができるティーチングアシスタントが常駐しているなど、学生が日常的にグローバルな価値観を吸収できる環境作りにも力を入れている。

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化教養		芸術専門課程	デザイン科 昼間制 (2年制) WEBデザインコース	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1728 単位時間	414 単位時間	108 単位時間	20880 単位時間	0 単位時間	0 単位時間
			単位時間				
生徒総定員数 (デザイン科の内数)		生徒実員	うち留学生数	専任教員数 (デザイン科の内 数)	兼任教員数 (デザイン科の内 数)	総教員数 (デザイン科の内 数)	
100人		1人	0人	1人	13人	14人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照
学修支援等
(概要) 専門分野に留まらず、総合力・人間力を身につけるカリキュラムが充実している。総合学院としてのメリットを最大限に活かし、複数学科が協働して授業以外のプログラムにも力を入れている。例えば、学生組織で動く「学院祭」や「オープンキャンパス」も学生が主体性やチャレンジ精神、課題解決力を醸成する機会である。また、学生が普段学んでいる事柄を社会や地域に活かしていく学習機会を作り、常に世の中を意識することを教えている。加えて、毎年10校の海外姉妹校から留学生と教授を迎えて学院全体で国際交流をする「インターナショナルウィーク」を始め、多数の海外研修プログラム、常に英語でコミュニケーションをとることができるティーチングアシスタントが常駐しているなど、学生が日常的にグローバルな価値観を吸収できる環境作りにも力を入れている。

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士			
文化教養	芸術専門課程	デザイン科 昼間制 (2年制) 大学コース	○				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1728 単位時間	630 単位時間	108 単位時間	20880 単位時間	0 単位時間	0 単位時間
生徒総定員数 (デザイン科の内数)	生徒実員	うち留学生数	専任教員数 (デザイン科の内 数)	兼任教員数 (デザイン科の内 数)	総教員数 (デザイン科の内 数)		
100人	4人	0人	1人	13人	14人		

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画) (概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法 (概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準 (概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照
学修支援等 (概要) 専門分野に留まらず、総合力・人間力を身につけるカリキュラムが充実している。総合学院としてのメリットを最大限に活かし、複数学科が協働して授業以外のプログラムにも力を入れている。例えば、学生組織で動く「学院祭」や「オープンキャンパス」も学生が主体性やチャレンジ精神、課題解決力を醸成する機会である。また、学生が普段学んでいる事柄を社会や地域に活かしていく学習機会を作り、常に世の中を意識することを教えている。加えて、毎年10校の海外姉妹校から留学生と教授を迎えて学院全体で国際交流をする「インターナショナルウィーク」を始め、多数の海外研修プログラム、常に英語でコミュニケーションをとることができるティーチングアシスタントが常駐しているなど、学生が日常的にグローバルな価値観を吸収できる環境作りにも力を入れている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
※2022年度 デザイン科の状況			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
0人 (%)	0人 (0%)	0人 (0%)	0人 (0%)
(主な就職、業界等)			
(就職指導内容) キャリアセンター主導により、入学直後からキャリアガイダンスを開始し、自分自身の理解、社会の理解、働くことの理解への意識付けを行う。また、就職模擬試験を始め、一般常識対策・適性試験対策（SPI）・集団及び個人面接・グループディスカッションなどの指導はもちろん、小論文や履歴書添削も行い万全のバックアップ体制をとっている			
(主な学修成果（資格・検定等）) 色彩検定3級、マナープロトコール検定3級			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
6人	1人	16.7%
(中途退学の主な理由) 目的に合わず		
(中退防止・中退者支援のための取組) 担任はもちろん、講師の先生にも協力を仰ぎ、情報共有の徹底を心掛けながら学生指導に取り組んでいる。学生たちの遅刻・欠席・授業態度など彼らの些細なメッセージを見逃さないようにしている。1年に2回以上の個人面接を実施し、学習意欲や学生生活全般の聞き取りを行っている。また、スクールカウンセラーが常駐しており、学生自らがカウンセリングを受けることができる。		

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
※2022年度 グラフィックデザイン科の状況			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
4人 (100%)	1人 (25.0%)	2人 (50.0%)	1人 (25.0%)
(主な就職、業界等) 敷島産業株式会社			
(就職指導内容) キャリアセンター主導により、入学直後からキャリアガイダンスを開始し、自分自身の理解、社会の理解、働くことへの理解への意識付けを行う。また、就職模擬試験を始め、一般常識対策・適性試験対策（SPI）・集団及び個人面接・グループディスカッションなどの指導はもちろん、小論文や履歴書添削も行い万全のバックアップ体制をとっている			
(主な学修成果（資格・検定等）) 色彩検定3級、マナープロトコール検定3級			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状 ※2022年度 グラフィックデザイン科の状況		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
4人	0人	0%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組) 担任はもちろん、講師の先生にも協力を仰ぎ、情報共有の徹底を心掛けながら学生指導に取り組んでいる。学生たちの遅刻・欠席・授業態度など彼らの些細なメッセージを見逃さないようにしている。1年に2回以上の個人面接を実施し、学習意欲や学生生活全般の聞き取りを行っている。また、スクールカウンセラーが常駐しており、学生自らがカウンセリングを受けることができる。		

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
※2022年度 WEBデザイン科の状況			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
8人 (100%)	3人 (37.5%)	3人 (37.5%)	2人 (25.0%)
(主な就職、業界等) アウトソーシング株式会社 株式会社 ONETARGET			
(就職指導内容) キャリアセンター主導により、入学直後からキャリアガイダンスを開始し、自分自身の理解、社会の理解、働くことへの理解への意識付けを行う。また、就職模擬試験を始め、一般常識対策・適性試験対策（SPI）・集団及び個人面接・グループディスカッションなどの指導はもちろん、小論文や履歴書添削も行い万全のバックアップ体制をとっている。			
(主な学修成果（資格・検定等）) マナープロトコール検定3級			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状 ※2022年度 WEBデザイン科の状況		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
10人	1人	10.0%
(中途退学の主な理由) 精神疾患による		
(中退防止・中退者支援のための取組) 担任・副担任はもちろん、講師の先生にも協力を仰ぎ、情報共有の徹底を心掛けながら学生指導に取り組んでいる。学生たちの遅刻・欠席・授業態度など彼らの些細なメッセージを見逃さないようにしている。1年に2回以上の個人面接を実施し、学習意欲や学生生活全般の聞き取りを行っている。また、スクールカウンセラーが常駐しており、学生自らがカウンセリングを受けることができる。		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化教養		芸術専門課程	声優・演劇科 昼間制 (2年制) 声優コース	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1728 単位時間	324 単位時間	0 単位時間	2916 単位時間	0 単位時間	0 単位時間
			単位時間				
生徒総定員数 (声優・演劇科の内 数)		生徒実員	うち留学生数	専任教員数 (声優・演劇科の内 数)	兼任教員数 (声優・演劇科の内 数)	総教員数 (声優・演劇科 の内数)	
80人		6人	0人	1人	12人	13人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照
学修支援等
(概要) 専門分野に留まらず、総合力・人間力を身につけるカリキュラムが充実している。総合学院としてのメリットを最大限に活かし、複数学科が協働して授業以外のプログラムにも力を入れている。例えば、学生組織で動く「学院際」や「オープンキャンパス」も学生が主体性やチャレンジ精神、課題解決力を醸成する機会である。また、学生が普段学んでいる事柄を社会や地域に活かしていく学習機会を作り、常に世の中を意識することを教えている。加えて、毎年10校の海外姉妹校から留学生と教授を迎えて学院全体で国際交流をする「インターナショナルウィーク」を始め、多数の海外研修プログラム、常に英語でコミュニケーションをとることができるティーチングアシスタントが常駐しているなど、学生が日常的にグローバルな価値観を吸収できる環境作りにも力を入れている。

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士			
文化教養	芸術専門課程	声優・演劇科 昼間制 (2年制) 俳優コース	○				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1728 単位時間	324 単位時間	0 単位時間	2916 単位時間	0 単位時間	0 単位時間
			単位時間				
生徒総定員数 (声優・演劇科の内 数)	生徒実員	うち留学生数	専任教員数 (声優・演劇科の内 数)	兼任教員数 (声優・演劇科の内 数)	総教員数 (声優・演劇科 の内数)		
80人	6人	0人	1人	12人	13人		

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照
学修支援等
(概要) 専門分野に留まらず、総合力・人間力を身につけるカリキュラムが充実している。総合学院としてのメリットを最大限に活かし、複数学科が協働して授業以外のプログラムにも力を入れている。例えば、学生組織で動く「学院際」や「オープンキャンパス」も学生が主体性やチャレンジ精神、課題解決力を醸成する機会である。また、学生が普段学んでいる事柄を社会や地域に活かしていく学習機会を作り、常に世の中を意識することを教えている。加えて、毎年10校の海外姉妹校から留学生と教授を迎えて学院全体で国際交流をする「インターナショナルウィーク」を始め、多数の海外研修プログラム、常に英語でコミュニケーションをとることができるティーチングアシスタントが常駐しているなど、学生が日常的にグローバルな価値観を吸収できる環境作りにも力を入れている。

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士			
文化教養	芸術専門課程	声優・演劇科 昼間制 (2年制) 大学コース	○				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1728 単位時間	540 単位時間	0 単位時間	2916 単位時間	0 単位時間	0 単位時間
			単位時間				
生徒総定員数 (声優・演劇科の内 数)	生徒実員	うち留学生数	専任教員数 (声優・演劇科の内 数)	兼任教員数 (声優・演劇科の内 数)	総教員数 (声優・演劇科 の内数)		
80人	4人	0人	1人	12人	13人		

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照
学修支援等
(概要) 専門分野に留まらず、総合力・人間力を身につけるカリキュラムが充実している。総合学院としてのメリットを最大限に活かし、複数学科が協働して授業以外のプログラムにも力を入れている。例えば、学生組織で動く「学院際」や「オープンキャンパス」も学生が主体性やチャレンジ精神、課題解決力を醸成する機会である。また、学生が普段学んでいる事柄を社会や地域に活かしていく学習機会を作り、常に世の中を意識することを教えている。加えて、毎年10校の海外姉妹校から留学生と教授を迎えて学院全体で国際交流をする「インターナショナルウィーク」を始め、多数の海外研修プログラム、常に英語でコミュニケーションをとることができるティーチングアシスタントが常駐しているなど、学生が日常的にグローバルな価値観を吸収できる環境作りにも力を入れている。

2022年度 声優・演劇科として

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
14人 (100%)	5人 (35.7%)	1人 (7.1%)	8人 (57.1%)
<p>（主な就職、業界等） アミューズメント関係（Fairy Line 株式会社） プロダクション、劇団、事務所等</p>			
<p>（就職指導内容） 入学直後からオーディション対策講座を開始し、自分自身の理解、社会の理解、働くことへの理解への意識付けと、俳優、声優として必要な業界理解を行う。また、模擬オーディションと並行し、就職希望者にも対応するべく、キャリアセンターと協力し、就職模擬試験を始め、一般常識対策・適性試験対策（SPI）・集団及び個人面接・グループディスカッションなどの指導、小論文や履歴書添削も行い、就職希望者に備える。また、2年時には学内に企業を呼んでの所属オーディションを受け、キャリアについて万全な体制で挑んでいる。</p>			
<p>（主な学修成果（資格・検定等）） マナー・プロトコール検定</p>			
<p>（備考）（任意記載事項）</p>			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
23人	2人	8.7%
<p>（中途退学の主な理由） 経済的理由、進路変更</p>		
<p>（中退防止・中退者支援のための取組） 担任はもちろん、講師の先生にも協力を仰ぎ、情報共有の徹底を心掛けながら学生指導に取り組んでいる。学生たちの遅刻・欠席・授業態度など彼らの些細なメッセージを見逃さないようにしている。1年に2回以上の個人面接を実施し、学習意欲や学生生活全般の聞き取りを行っている。また、スクールカウンセラーが常駐しており、学生自らがカウンセリングを受けることができる。</p>		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化教養		芸術専門課程	スポーツビジネス科 昼間制 (2年制) スポーツトレーナーコース	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1728 単位時間	2232 単位時間	576 単位時間	2772 単位時間	0 単位時間	0 単位時間
			単位時間				
生徒総定員数 (スポーツビジネス科 の内数)		生徒実員	うち留学生数	専任教員数 (スポーツビジネス 科の内数)	兼任教員数 (スポーツビジネス 科の内数)	総教員数 (スポーツビジ ネス科の内数)	
120人		4人	0人	2人	15人	17人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照
学修支援等
(概要) 専門分野に留まらず、総合力・人間力を身につけるカリキュラムが充実している。総合学院としてのメリットを最大限に活かし、複数学科が協働して授業以外のプログラムにも力を入れている。例えば、学生組織で動く「学院祭」や「オープンキャンパス」も学生が主体性やチャレンジ精神、課題解決力を醸成する機会である。また、学生が普段学んでいる事柄を社会や地域に活かしていく学習機会を作り、常に世の中を意識することを教えている。加えて、毎年海外姉妹校から留学生と教授を迎えて学院全体で国際交流をする「インターナショナルウィーク」を始め、多数の海外研修プログラム、常に英語でコミュニケーションをとることができるティーチングアシスタントが常駐しているなど、学生が日常的にグローバルな価値観を吸収できる環境作りにも力を入れている。

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士			
文化教養	芸術専門課程	スポーツビジネス科 昼間制 (2年制) スポーツインストラクター コース	○				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1728 単位時間	2232 単位時間	576 単位時間	2772 単位時間	0 単位時間	0 単位時間
生徒総定員数 (スポーツビジネス科 の内数)	生徒実員	うち留学生数	専任教員数 (スポーツビジネス 科の内数)	兼任教員数 (スポーツビジネス 科の内数)	総教員数 (スポーツビジ ネス科の内数)		
120人	0人	0人	2人	15人	17人		

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照
学修支援等
(概要) 専門分野に留まらず、総合力・人間力を身につけるカリキュラムが充実している。総合学院としてのメリットを最大限に活かし、複数学科が協働して授業以外のプログラムにも力を入れている。例えば、学生組織で動く「学院祭」や「オープンキャンパス」も学生が主体性やチャレンジ精神、課題解決力を醸成する機会である。また、学生が普段学んでいる事柄を社会や地域に活かしていく学習機会を作り、常に世の中を意識することを教えている。加えて、毎年海外姉妹校から留学生と教授を迎えて学院全体で国際交流をする「インターナショナルウィーク」を始め、多数の海外研修プログラム、常に英語でコミュニケーションをとることができるティーチングアシスタントが常駐しているなど、学生が日常的にグローバルな価値観を吸収できる環境作りにも力を入れている。

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士			
文化教養	芸術専門課程	スポーツビジネス科 昼間制 (2年制) スポーツマネジメント コース	○				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1728 単位時間	2232 単位時間	576 単位時間	2772 単位時間		
			単位時間				
生徒総定員数 (スポーツビジネス科 の内数)	生徒実員	うち留学生数	専任教員数 (スポーツビジネス 科の内数)	兼任教員数 (スポーツビジネス 科の内数)	総教員数 (スポーツビジ ネス科の内数)		
120人	3人	0人	2人	15人	17人		

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照
学修支援等
(概要) 専門分野に留まらず、総合力・人間力を身につけるカリキュラムが充実している。総合学院としてのメリットを最大限に活かし、複数学科が協働して授業以外のプログラムにも力を入れている。例えば、学生組織で動く「学院祭」や「オープンキャンパス」も学生が主体性やチャレンジ精神、課題解決力を醸成する機会である。また、学生が普段学んでいる事柄を社会や地域に活かしていく学習機会を作り、常に世の中を意識することを教えている。加えて、毎年海外姉妹校から留学生と教授を迎えて学院全体で国際交流をする「インターナショナルウィーク」を始め、多数の海外研修プログラム、常に英語でコミュニケーションをとることができるティーチングアシスタントが常駐しているなど、学生が日常的にグローバルな価値観を吸収できる環境作りにも力を入れている。

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士			
文化教養	芸術専門課程	スポーツビジネス科 昼間制 (2年制) サッカーエキスパート コース	○				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1728 単位時間	2232 単位時間	576 単位時間	2772 単位時間	0 単位時間	0 単位時間
生徒総定員数 (スポーツビジネス科 の内数)	生徒実員	うち留学生数	専任教員数 (スポーツビジネス 科の内数)	兼任教員数 (スポーツビジネス 科の内数)	総教員数 (スポーツビジ ネス科の内数)		
120人	3人	0人	2人	15人	17人		

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照
学修支援等
(概要) 専門分野に留まらず、総合力・人間力を身につけるカリキュラムが充実している。総合学院としてのメリットを最大限に活かし、複数学科が協働して授業以外のプログラムにも力を入れている。例えば、学生組織で動く「学院祭」や「オープンキャンパス」も学生が主体性やチャレンジ精神、課題解決力を醸成する機会である。また、学生が普段学んでいる事柄を社会や地域に活かしていく学習機会を作り、常に世の中を意識することを教えている。加えて、毎年海外姉妹校から留学生と教授を迎えて学院全体で国際交流をする「インターナショナルウィーク」を始め、多数の海外研修プログラム、常に英語でコミュニケーションをとることができるティーチングアシスタントが常駐しているなど、学生が日常的にグローバルな価値観を吸収できる環境作りにも力を入れている。

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士			
文化教養	芸術専門課程	スポーツビジネス科 昼間制（2年制） 大学コース	○				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1728 単位時間	2556 単位時間	576 単位時間	2772 単位時間	0 単位時間	0 単位時間
			単位時間				
生徒総定員数 (スポーツビジネス科 の内数)	生徒実員	うち留学生数	専任教員数 (スポーツビジネス 科の内数)	兼任教員数 (スポーツビジネス 科の内数)	総教員数 (スポーツビジ ネス科の内数)		
120人	5人	0人	2人	15人	17人		

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照
学修支援等
（概要） 専門分野に留まらず、総合力・人間力を身につけるカリキュラムが充実している。総合学院としてのメリットを最大限に活かし、複数学科が協働して授業以外のプログラムにも力を入れている。例えば、学生組織で動く「学院祭」や「オープンキャンパス」も学生が主体性やチャレンジ精神、課題解決力を醸成する機会である。また、学生が普段学んでいる事柄を社会や地域に活かしていく学習機会を作り、常に世の中を意識することを教えている。加えて、毎年海外姉妹校から留学生と教授を迎えて学院全体で国際交流をする「インターナショナルウィーク」を始め、多数の海外研修プログラム、常に英語でコミュニケーションをとることができるティーチングアシスタントが常駐しているなど、学生が日常的にグローバルな価値観を吸収できる環境作りにも力を入れている。

2022年度 スポーツビジネス科として

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
20人 (100%)	7人 (35.0%)	11人 (55.0%)	2人 (10.0%)
<p>（主な就職、業界等）</p> <p>ウィルオブコンストラクション 株式会社ワコーインターナショナル ビックモーター フクシエンタープライズ 飲食店でアルバイト 株式会社 nobitel 株式会社ニューフラッグ 株式会社リラックス 他</p>			
<p>（就職指導内容）</p> <p>キャリアセンター主導により、入学直後からキャリアガイダンスを開始し、自分自身の理解、社会の理解、働くことの理解への意識付けを行う。また、就職模擬試験を始め、一般常識対策・適性試験対策（SPI）・集団及び個人面接・グループディスカッションなどの指導はもちろん、小論文や履歴書添削も行い万全のバックアップ体制をとっている。</p>			
<p>（主な学修成果（資格・検定等））</p> <p>健康運動実践指導者、GFI、BLS（一次救命）、販売士（ビジネスマナー）、MOS（パソコン検定）、マナープロトコール検定、サッカーC級指導者ライセンス、</p>			
<p>（備考）（任意記載事項）</p>			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
35人	9人	25.7%
<p>（中途退学の主な理由）</p> <p>出席不良からの成業不可</p>		
<p>（中退防止・中退者支援のための取組）</p> <p>担任はもちろん、講師の先生にも協力を仰ぎ、情報共有の徹底を心掛けながら学生指導に取り組んでいる。学生たちの遅刻・欠席・授業態度など彼らの些細なメッセージを見逃さないようにしている。1年に2回以上の個人面接を実施し、学習意欲や学生生活全般の聞き取りを行っている。また、スクールカウンセラーが常駐しており、学生自らがカウンセリングを受けることができる。</p>		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化教養		芸術専門課程	ミュージック科 昼間制 (2年制) プレイヤーコース	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1728 単位時間	792 単 位時間	0 単位時間	2772 単位時間	0 単位時間	0 単位時間
			単位時間				
生徒総定員数 (ミュージック科の内 数)		生徒実員	うち留学生数	専任教員数 (ミュージック科の 内数)	兼任教員数 (ミュージック科の 内数)	総教員数 (ミュージック 科の内数)	
60人		2人	0人	1人	15人	16人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照
学修支援等
(概要) 専門分野に留まらず、総合力・人間力を身につけるカリキュラムが充実している。総合学院としてのメリットを最大限に活かし、複数学科が協働して授業以外のプログラムにも力を入れている。例えば、学生組織で動く「学院際」や「オープンキャンパス」も学生が主体性やチャレンジ精神、課題解決力を醸成する機会である。また、学生が普段学んでいる事柄を社会や地域に活かしていく学習機会を作り、常に世の中を意識することを教えている。加えて、毎年10校の海外姉妹校から留学生と教授を迎えて学院全体で国際交流をする「インターナショナルウィーク」を始め、多数の海外研修プログラム、常に英語でコミュニケーションをとることができるティーチングアシスタントが常駐しているなど、学生が日常的にグローバルな価値観を吸収できる環境作りにも力を入れている。

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士			
文化教養	芸術専門課程	ミュージック科 昼間制 (2年制) ヴォーカル&シンガーソングライターコース	○				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1728 単位時間	792 単位時間	0 単位時間	2772 単位時間	0 単位時間	0 単位時間
			単位時間				
生徒総定員数 (ミュージック科の内 数)	生徒実員	うち留学生数	専任教員数 (ミュージック科の 内数)	兼任教員数 (ミュージック科の 内数)	総教員数 (ミュージック 科の内数)		
60人	4人	0人	1人	15人	16人		

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照
学修支援等
(概要) 専門分野に留まらず、総合力・人間力を身につけるカリキュラムが充実している。総合学院としてのメリットを最大限に活かし、複数学科が協働して授業以外のプログラムにも力を入れている。例えば、学生組織で動く「学院際」や「オープンキャンパス」も学生が主体性やチャレンジ精神、課題解決力を醸成する機会である。また、学生が普段学んでいる事柄を社会や地域に活かしていく学習機会を作り、常に世の中を意識することを教えている。加えて、毎年10校の海外姉妹校から留学生と教授を迎えて学院全体で国際交流をする「インターナショナルウィーク」を始め、多数の海外研修プログラム、常に英語でコミュニケーションをとることができるティーチングアシスタントが常駐しているなど、学生が日常的にグローバルな価値観を吸収できる環境作りにも力を入れている。

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士			
文化教養	芸術専門課程	ミュージック科 昼間制 (2年制) サウンドデザイナーコース	○				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1728 単位時間	792 単位時間	0 単位時間	2772 単位時間	0 単位時間	0 単位時間
			単位時間				
生徒総定員数 (ミュージック科の内 数)	生徒実員	うち留学生数	専任教員数 (ミュージック科の 内数)	兼任教員数 (ミュージック科の 内数)	総教員数 (ミュージック 科の内数)		
60人	7人	0人	1人	15人	16人		

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照
学修支援等
(概要) 専門分野に留まらず、総合力・人間力を身につけるカリキュラムが充実している。総合学院としてのメリットを最大限に活かし、複数学科が協働して授業以外のプログラムにも力を入れている。例えば、学生組織で動く「学院際」や「オープンキャンパス」も学生が主体性やチャレンジ精神、課題解決力を醸成する機会である。また、学生が普段学んでいる事柄を社会や地域に活かしていく学習機会を作り、常に世の中を意識することを教えている。加えて、毎年10校の海外姉妹校から留学生と教授を迎えて学院全体で国際交流をする「インターナショナルウィーク」を始め、多数の海外研修プログラム、常に英語でコミュニケーションをとることができるティーチングアシスタントが常駐しているなど、学生が日常的にグローバルな価値観を吸収できる環境作りにも力を入れている。

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化教養		芸術専門課程	ミュージック科 昼間制 (2年制) 大学コース	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1728 単位時間	1044 単位時間	0 単位時間	2772 単位時間	0 単位時間	0 単位時間
			単位時間				
生徒総定員数 (ミュージック科の内 数)		生徒実員	うち留学生数	専任教員数 (ミュージック科の 内数)	兼任教員数 (ミュージック科の 内数)	総教員数 (ミュージック 科の内数)	
60人		10人	0人	1人	15人	16人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照
学修支援等
(概要) 専門分野に留まらず、総合力・人間力を身につけるカリキュラムが充実している。総合学院としてのメリットを最大限に活かし、複数学科が協働して授業以外のプログラムにも力を入れている。例えば、学生組織で動く「学院際」や「オープンキャンパス」も学生が主体性やチャレンジ精神、課題解決力を醸成する機会である。また、学生が普段学んでいる事柄を社会や地域に活かしていく学習機会を作り、常に世の中を意識することを教えている。加えて、毎年10校の海外姉妹校から留学生と教授を迎えて学院全体で国際交流をする「インターナショナルウィーク」を始め、多数の海外研修プログラム、常に英語でコミュニケーションをとることができるティーチングアシスタントが常駐しているなど、学生が日常的にグローバルな価値観を吸収できる環境作りにも力を入れている。

2022年度 ミュージック科として

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
9人 (100%)	4人 (44.4%)	0人 (0%)	5人 (55.6%)
（主な就職、業界等） 音楽業界			
（就職指導内容） キャリアセンター主導により、入学直後からキャリアガイダンスを開始し、自分自身の理解、社会の理解、働くことへの理解への意識付けを行う。また、就職模擬試験を始め、一般常識対策・適性試験対策（SPI）・集団及び個人面接・グループディスカッションなどの指導はもちろん、小論文や履歴書添削も行い万全のバックアップ体制をとっている。			
（主な学修成果（資格・検定等）） マナー・プロトコール検定			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
25人	3人	12.0%
（中途退学の主な理由） 体調不良（精神疾患） 出席不良からの成業不可		
（中退防止・中退者支援のための取組） 担任はもちろん、講師の先生にも協力を仰ぎ、情報共有の徹底を心掛けながら学生指導に取り組んでいる。学生たちの遅刻・欠席・授業態度など彼らの些細なメッセージを見逃さないようにしている。1年に2回以上の個人面接を実施し、学習意欲や学生生活全般の聞き取りを行っている。また、スクールカウンセラーが常駐しており、学生自らがカウンセリングを受けることができる。		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化教養		芸術専門課程	ゲームクリエイター科 昼間制 (2年制) ゲームクリエイターコース	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1728 単位時間	540 単位時間	0 単位時間	3456 単位時間	0 単位時間	0 単位時間
			単位時間				
生徒総定員数 (ゲームクリエイター 科の内数)		生徒実員	うち留学生数	専任教員数 (ゲームクリエイター 科の内数)	兼任教員数 (ゲームクリエイター 科の内数)	総教員数 (ゲームクリエイター科の内 数)	
40人		6人	1人	2人	9人	11人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照
学修支援等
(概要) 専門分野に留まらず、総合力・人間力を身につけるカリキュラムが充実している。総合学院としてのメリットを最大限に活かし、複数学科が協働して授業以外のプログラムにも力を入れている。例えば、学生組織で動く「学院祭」や「オープンキャンパス」も学生が主体性やチャレンジ精神、課題解決力を醸成する機会である。また、学生が普段学んでいる事柄を社会や地域に活かしていく学習機会を作り、常に世の中を意識することを教えている。加えて、毎年海外姉妹校から留学生と教授を迎えて学院全体で国際交流をする「インターナショナルウィーク」を始め、多数の海外研修プログラム、常に英語でコミュニケーションをとることができるティーチングアシスタントが常駐しているなど、学生が日常的にグローバルな価値観を吸収できる環境作りにも力を入れている。

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士			
文化教養	芸術専門課程	ゲームクリエイター科 昼間制（2年制） おもちゃクリエイター コース	○				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1728 単時間	540 単時間	0 単時間	3456 単時間	0 単時間	0 単時間
生徒総定員数 <small>（ゲームクリエイター 科の内数）</small>		生徒実員	うち留学生数	専任教員数 <small>（ゲームクリエイター 科の内数）</small>	兼任教員数 <small>（ゲームクリエイター 科の内数）</small>	総教員数 <small>（ゲームクリエイター科の内 数）</small>	
40人		1人	0人	2人	9人	11人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照
学修支援等
（概要） 専門分野に留まらず、総合力・人間力を身につけるカリキュラムが充実している。総合学院としてのメリットを最大限に活かし、複数学科が協働して授業以外のプログラムにも力を入れている。例えば、学生組織で動く「学院祭」や「オープンキャンパス」も学生が主体性やチャレンジ精神、課題解決力を醸成する機会である。また、学生が普段学んでいる事柄を社会や地域に活かしていく学習機会を作り、常に世の中を意識することを教えている。加えて、毎年海外姉妹校から留学生と教授を迎えて学院全体で国際交流をする「インターナショナルウィーク」を始め、多数の海外研修プログラム、常に英語でコミュニケーションをとることができるティーチングアシスタントが常駐しているなど、学生が日常的にグローバルな価値観を吸収できる環境作りにも力を入れている。

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化教養		芸術専門課程	ゲームクリエイター科 昼間制 (2年制) 大学コース	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1728 単位時間	756 単位時間	0 単位時間	3456 単位時間	0 単位時間	0 単位時間
			単位時間				
生徒総定員数 (ゲームクリエイター 科の内数)		生徒実員	うち留学生数	専任教員数 (ゲームクリエイター 科の内数)	兼任教員数 (ゲームクリエイター 科の内数)	総教員数 (ゲームクリエ ーター科の内 数)	
40人		18人	0人	2人	9人	11人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照
学修支援等
(概要) 専門分野に留まらず、総合力・人間力を身につけるカリキュラムが充実している。総合学院としてのメリットを最大限に活かし、複数学科が協働して授業以外のプログラムにも力を入れている。例えば、学生組織で動く「学院祭」や「オープンキャンパス」も学生が主体性やチャレンジ精神、課題解決力を醸成する機会である。また、学生が普段学んでいる事柄を社会や地域に活かしていく学習機会を作り、常に世の中を意識することを教えている。加えて、毎年海外姉妹校から留学生と教授を迎えて学院全体で国際交流をする「インターナショナルウィーク」を始め、多数の海外研修プログラム、常に英語でコミュニケーションをとることができるティーチングアシスタントが常駐しているなど、学生が日常的にグローバルな価値観を吸収できる環境作りにも力を入れている。

2022年度 ゲームクリエイター科として

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
17人 (100%)	9人 (52.9%)	8人 (47.1%)	0人 (0%)
(主な就職、業界等) ミユキ精工株式会社 株式会社MCT 株式会社ユーベスト 株式会社日本アシスト REC株式会社 クリエイトホールディングス 他			
(就職指導内容) キャリアセンター主導により、入学直後からキャリアガイダンスを開始し、自分自身の理解、社会の理解、働くことへの意識付けを行う。また、就職模擬試験を始め、一般常識対策・適性試験対策(SPI)・集団及び個人面接・グループディスカッションなどの指導はもちろん、小論文や履歴書添削も行い万全のバックアップ体制をとっている。			
(主な学修成果(資格・検定等)) ・C、C++言語などのプログラムスキル、・3DCG, イラストの制作スキル・企画書、仕様書の制作スキル、・ゲームエンジンでの制作スキル・DTMでのサウンド制作スキル、・プレゼンテーションスキルなどの修得			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
35人	4人	11.4%
(中途退学の主な理由) 進路変更(就職) 出席不良からの成業不可		
(中退防止・中退者支援のための取組) 担任はもちろん、講師の先生にも協力を仰ぎ、情報共有の徹底を心掛けながら学生指導に取り組んでいる。学生たちの遅刻・欠席・授業態度など彼らの些細なメッセージを見逃さないようにしている。1年に2回以上の個人面接を実施し、学習意欲や学生生活全般の聞き取りを行っている。また、スクールカウンセラーが常駐しており、学生自らがカウンセリングを受けることができる。		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化教養		芸術専門課程	アニメ・マンガ科 昼間制 (2年制) アニメーションコース	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1728 単位時間	1296 単位時間	0 単位時間	6544 単位時間	0 単位時間	0 単位時間
			単位時間				
生徒総定員数 (アニメ・マンガ科の 内数)		生徒実員	うち留学生数	専任教員数 (アニメ・マンガ 科の内数)	兼任教員数 (アニメ・マンガ科 の内数)	総教員数 (アニメ・マン ガ科の内数)	
140人		5人	0人	1人	12人	13人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照
学修支援等
(概要) 専門分野に留まらず、総合力・人間力を身につけるカリキュラムが充実している。総合学院としてのメリットを最大限に活かし、複数学科が協働して授業以外のプログラムにも力を入れている。例えば、学生組織で動く「学院祭」や「オープンキャンパス」も学生が主体性やチャレンジ精神、課題解決力を醸成する機会である。また、学生が普段学んでいる事柄を社会や地域に活かしていく学習機会を作り、常に世の中を意識することを教えている。加えて、毎年海外姉妹校から留学生と教授を迎えて学院全体で国際交流をする「インターナショナルウィーク」を始め、多数の海外研修プログラム、常に英語でコミュニケーションをとることができるティーチングアシスタントが常駐しているなど、学生が日常的にグローバルな価値観を吸収できる環境作りにも力を入れている。

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化教養		芸術専門課程	アニメ・マンガ科 昼間制 (2年制) マンガコース	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1728 単位時間	1296 単位時間	0 単位時間	6544 単位時間	0 単位時間	0 単位時間
			単位時間				
生徒総定員数 (アニメ・マンガ科の 内数)		生徒実員	うち留学生数	専任教員数 (アニメ・マンガ科 の内数)	兼任教員数 (アニメ・マンガ科 の内数)	総教員数 (アニメ・マン ガ科の内数)	
140人		1人	0人	1人	12人	13人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照
学修支援等
(概要) 専門分野に留まらず、総合力・人間力を身につけるカリキュラムが充実している。総合学院としてのメリットを最大限に活かし、複数学科が協働して授業以外のプログラムにも力を入れている。例えば、学生組織で動く「学院祭」や「オープンキャンパス」も学生が主体性やチャレンジ精神、課題解決力を醸成する機会である。また、学生が普段学んでいる事柄を社会や地域に活かしていく学習機会を作り、常に世の中を意識することを教えている。加えて、毎年海外姉妹校から留学生と教授を迎えて学院全体で国際交流をする「インターナショナルウィーク」を始め、多数の海外研修プログラム、常に英語でコミュニケーションをとることができるティーチングアシスタントが常駐しているなど、学生が日常的にグローバルな価値観を吸収できる環境作りにも力を入れている。

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士			
文化教養	芸術専門課程	アニメ・マンガ科 昼間制 (2年制) イラストレーションコース	○				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1728 単位時間	1296 単位時間	0 単位時間	6440 単位時間	0 単位時間	0 単位時間
生徒総定員数 (アニメ・マンガ科の 内数)	生徒実員	うち留学生数	専任教員数 (アニメ・マンガ科 の内数)	兼任教員数 (アニメ・マンガ科 の内数)	総教員数 (アニメ・マン ガ科の内数)		
140人	3人	0人	1人	12人	13人		

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照
学修支援等
(概要) 専門分野に留まらず、総合力・人間力を身につけるカリキュラムが充実している。総合学院としてのメリットを最大限に活かし、複数学科が協働して授業以外のプログラムにも力を入れている。例えば、学生組織で動く「学院祭」や「オープンキャンパス」も学生が主体性やチャレンジ精神、課題解決力を醸成する機会である。また、学生が普段学んでいる事柄を社会や地域に活かしていく学習機会を作り、常に世の中を意識することを教えている。加えて、毎年海外姉妹校から留学生と教授を迎えて学院全体で国際交流をする「インターナショナルウィーク」を始め、多数の海外研修プログラム、常に英語でコミュニケーションをとることができるティーチングアシスタントが常駐しているなど、学生が日常的にグローバルな価値観を吸収できる環境作りにも力を入れている。

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士			
文化教養	芸術専門課程	アニメ・マンガ科 昼間制（2年制） 大学コース	○				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1728 単位時間	1512 単位時間	0 単位時間	6440 単位時間	0 単位時間	0 単位時間
			単位時間				
生徒総定員数 (アニメ・マンガ科の 内数)	生徒実員	うち留学生数	専任教員数 (アニメ・マンガ科 の内数)	兼任教員数 (アニメ・マンガ科 の内数)	総教員数 (アニメ・マン ガ科の内数)		
140人	10人	0人	1人	12人	13人		

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画） （概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法 （概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準 （概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照
学修支援等 （概要） 専門分野に留まらず、総合力・人間力を身につけるカリキュラムが充実している。総合学院としてのメリットを最大限に活かし、複数学科が協働して授業以外のプログラムにも力を入れている。例えば、学生組織で動く「学院祭」や「オープンキャンパス」も学生が主体性やチャレンジ精神、課題解決力を醸成する機会である。また、学生が普段学んでいる事柄を社会や地域に活かしていく学習機会を作り、常に世の中を意識することを教えている。加えて、毎年海外姉妹校から留学生と教授を迎えて学院全体で国際交流をする「インターナショナルウィーク」を始め、多数の海外研修プログラム、常に英語でコミュニケーションをとることができるティーチングアシスタントが常駐しているなど、学生が日常的にグローバルな価値観を吸収できる環境作りにも力を入れている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
※2022年度 アニメ・マンガ科の状況			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
0人 （%）	0人 （%）	0人 （%）	0人 （%）
（主な就職、業界等）			
（就職指導内容） キャリアセンター主導により、入学直後からキャリアガイダンスを開始し、自分自身の理解、社会の理解、働くことへの理解への意識付けを行う。また、就職模擬試験を始め、一般常識対策・適性試験対策（SPI）・集団及び個人面接・グループディスカッションなどの指導はもちろん、小論文や履歴書添削も行い万全のバックアップ体制をとっている。			
（主な学修成果（資格・検定等））			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状 ※2022年度 アニメ・マンガ科の状況		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
5人	2人	40.0%
（中途退学の主な理由） 出席不良から成業不可		
（中退防止・中退者支援のための取組） 担任はもちろん、講師の先生にも協力を仰ぎ、情報共有の徹底を心掛けながら学生指導に取り組んでいる。学生たちの遅刻・欠席・授業態度など彼らの些細なメッセージを見逃さないようにしている。1年に2回以上の個人面接を実施し、学習意欲や学生生活全般の聞き取りを行っている。また、スクールカウンセラーが常駐しており、学生自らがカウンセリングを受けることができる。		

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
※2022 年度 アニメーション科の状況			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
6 人 (100%)	1 人 (16.7%)	3 人 (50.0%)	2 人 (33.3%)
(主な就職、業界等) 株式会社 studio ぱれっと 株式会社シャフト静岡スタジオ 有限会社スタジオエル			
(就職指導内容) キャリアセンター主導により、入学直後からキャリアガイダンスを開始し、自分自身の理解、社会の理解、働くことへの意識付けを行う。また、就職模擬試験を始め、一般常識対策・適性試験対策（SPI）・集団及び個人面接・グループディスカッションなどの指導はもちろん、小論文や履歴書添削も行い万全のバックアップ体制をとっている。			
(主な学修成果（資格・検定等）) マナープロトコール検定 3 級			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状 ※2021 年度アニメーション科の状況		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
6 人	0 人	0%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組) 担任はもちろん、講師の先生にも協力を仰ぎ、情報共有の徹底を心掛けながら学生指導に取り組んでいる。学生たちの遅刻・欠席・授業態度など彼らの些細なメッセージを見逃さないようにしている。1年に2回以上の個人面接を実施し、学習意欲や学生生活全般の聞き取りを行っている。また、スクールカウンセラーが常駐しており、学生自らがカウンセリングを受けることができる。		

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
※2022 年度マンガ科の状況			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
8人 (100%)	2人 (25.0%)	1人 (12.5%)	5人 (62.5%)
(主な就職、業界等) 株式会社フェローズ所属			
(就職指導内容) キャリアセンター主導により、入学直後からキャリアガイダンスを開始し、自分自身の理解、社会の理解、働くことへの意識付けを行う。また、就職模擬試験を始め、一般常識対策・適性試験対策（SPI）・集団及び個人面接・グループディスカッションなどの指導はもちろん、小論文や履歴書添削も行い万全のバックアップ体制をとっている。			
(主な学修成果（資格・検定等）) マナープロトコール検定3級			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状 ※2021 年度マンガ科の状況		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
10人	1人	10.0%
(中途退学の主な理由) 出席不良から成業不可		
(中退防止・中退者支援のための取組) 担任はもちろん、講師の先生にも協力を仰ぎ、情報共有の徹底を心掛けながら学生指導に取り組んでいる。学生たちの遅刻・欠席・授業態度など彼らの些細なメッセージを見逃さないようにしている。1年に2回以上の個人面接を実施し、学習意欲や学生生活全般の聞き取りを行っている。また、スクールカウンセラーが常駐しており、学生自らがカウンセリングを受けることができる。		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
教育・社会福祉		教育・福祉 専門課程	教育専攻科 昼間制 (4年制) 幼稚園教諭1種コース		○		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
4年	昼	3 4 5 6 単位時間	3852 単位時間	1440 単位時間	1620 単位時間	0 単位時間	0 単位時間
			単位時間				
生徒総定員数 (教育専攻科の内数)		生徒実員	うち留学生数	専任教員数 (教育専攻科の内数)	兼任教員数 (教育専攻科の内数)	総教員数 (教育専攻科の内数)	
160人		1人	0人	3人	39人	42人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画) (概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1. を参照
成績評価の基準・方法 (概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3. を参照
卒業・進級の認定基準 (概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4. を参照
学修支援等 (概要) 全授業36回のうち、授業内でレポート作成や添削指導などをおこなっている。また、スクリーニングなどでも単位を修得し易いよう、履修の方法など随時、担任と学生で面談をしながらおこなっている。また、進路指導、学外活動(地域ボランティアや教育実習の開拓サポート)の紹介から学修支援をしている。

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
教育・社会福祉		教育・福祉 専門課程	教育専攻科 昼間制 (4年制) 小学校教諭1種コース		○		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
4年	昼	3 4 5 6 単位時間	3852 単位時間	1440 単位時間	1620 単位時間	0 単位時間	0 単位時間
			単位時間				
生徒総定員数 (教育専攻科の内数)		生徒実員	うち留学生数	専任教員数 (教育専攻科の内数)	兼任教員数 (教育専攻科の内数)	総教員数 (教育専攻科の内数)	
160人		4人	0人	3人	39人	42人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照
学修支援等
全授業36回のうち、授業内でレポート作成や添削指導などをおこなっている。また、スクーリングなどでも単位を修得し易いよう、履修の方法など随時、担任と学生で面談をしながらおこなっている。また、進路指導、学外活動(地域ボランティアや教育実習の開拓サポート)の紹介から学修支援をしている。

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
教育・社会福祉		教育・福祉 専門課程	教育専攻科 昼間制 (4年制) 保健体育教諭1種コース		○		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
4年	昼	3 4 5 6 単位時間	2880 単位時間	2052 単位時間	2052 単位時間	0 単位時間	0 単位時間
			単位時間				
生徒総定員数 (教育専攻科の内数)		生徒実員	うち留学生数	専任教員数 (教育専攻科の内数)	兼任教員数 (教育専攻科の内数)	総教員数 (教育専攻科の内数)	
160人		7人	0人	2人	6人	8人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画) (概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法 (概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準 (概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照
学修支援等 (概要) 全授業36回のうち、授業内でレポート作成や添削指導などをおこなっている。また、スクーリングなどでも単位を修得し易いよう、履修の方法など随時、担任と学生で面談をしながらおこなっている。また、進路指導、学外活動(地域ボランティアや教育実習の開拓サポート)の紹介から学修支援をしている。

2022年度 教育専攻科として

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
17人 (100%)	0人 (0%)	17人 (100%)	0人 (0%)
（主な就職、業界等） こどもの森／木下の保育園 目黒区福祉事業団 国立保育会 東京都小学校教諭 天光会（介護） タジマモーターコーポレーション バイク王 レッドバロン 他			
（就職指導内容） 小論文、学習指導案添削、集団面接、個人面接、地域ボランティア（地域連携）、SPI、履歴書指導			
（主な学修成果（資格・検定等）） 幼稚園教諭第1種免許、中高保健体育教諭第1種免許 学士			
（備考）（任意記載事項） 幼稚園教諭1種免許は、姫路大学との併修により取得。 中高保健体育教諭第1種免許は、星槎大学との併修により取得。			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
28人	3人	10.7%
（中途退学の主な理由） 出席不良からの成業不可		
（中退防止・中退者支援のための取組） 担任はもちろん、講師の先生にも協力を仰ぎ、情報共有の徹底を心掛けながら学生指導に取り組んでいる。学生たちの遅刻・欠席・授業態度など彼らの些細なメッセージを見逃さないようにしている。1年に2回以上の個人面接を実施し、学習意欲や学生生活全般の聞き取りを行っている。また、スクールカウンセラーが常駐しており、学生自らがカウンセリングを受けることができる。		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
教育・社会福祉		教育・福祉 専門課程	こども学科 昼間制 (3年制) こども英語 コース	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼	2592 単位時間	1440 単位時間	2808 単位時間	504 単位時間	0 単位時間	0 単位時間
			単位時間				
生徒総定員数 (こども学科の内数)	生徒実員	うち留学生数	専任教員数 (こども学科の内 数)	兼任教員数 (こども学科の内 数)	総教員数 (こども学科の内 数)		
120人	0人	0人	3人	19人	22人		

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照
学修支援等
(概要) 豊岡短期大学の科目履修に伴い、授業内でレポート作成や添削指導などをおこなっている。また、スクーリングなどでも単位を修得し易いよう、履修の方法など随時、担任と学生で面談をしながらおこなっている。 また、敷地内にある小金井市認可保育園である東京工学院きしゃぼぼ保育園主催の子育て応援サークル「ちびっこどんぶり」や毎年学生が主体となって開催するイベント「こどもまつり」にて在学中に保護者と子どもとの関わりを多く取り入れている。

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
教育・社会福祉		教育・福祉 専門課程	こども学科 昼間制 (3年制) こども音楽 コース	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼	2592 単位時間	1440 単位時間	2808 単位時間	504 単位時間	0 単位時間	0 単位時間
			単位時間				
生徒総定員数 (こども学科の内数)		生徒実員	うち留学生数	専任教員数 (こども学科の内 数)	兼任教員数 (こども学科の内 数)	総教員数 (こども学科の内 数)	
120人		3人	0人	3人	19人	22人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照
学修支援等
(概要) 豊岡短期大学の科目履修に伴い、授業内でレポート作成や添削指導などをおこなっている。また、スクーリングなどでも単位を修得し易いよう、履修の方法など随時、担任と学生で面談をしながらおこなっている。 また、敷地内にある小金井市認可保育園である東京工学院きしゃぼぼ保育園主催の子育て応援サークル「ちびっこどんぶり」や毎年学生が主体となって開催するイベント「こどもまつり」にて在学中に保護者と子どもとの関わりを多く取り入れている。

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
教育・社会福祉		教育・福祉 専門課程	こども学科 昼間制 (3年制) こどもスポ ーツコース	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼	2592 単位時間/単位	1440 単位時間	2884 単位時間	504 単位時間	0 単位時間	0 単位時間
			単位時間				
生徒総定員数 (こども学科の内数)	生徒実員	うち留学生数	専任教員数 (こども学科の内 数)	兼任教員数 (こども学科の内 数)	総教員数 (こども学科の内 数)		
120人	2人	0人	3人	19人	22人		

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照
学修支援等
(概要) 豊岡短期大学の科目履修に伴い、授業内でレポート作成や添削指導などをおこなっている。また、スクーリングなどでも単位を修得し易いよう、履修の方法など随時、担任と学生で面談をしながらおこなっている。 また、敷地内にある小金井市認可保育園である東京工学院きしゃぼぼ保育園主催の子育て応援サークル「ちびっこどんぶり」や毎年学生が主体となって開催するイベント「こどもまつり」にて在学中に保護者と子どもとの関わりを多く取り入れている。

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
教育・社会福祉		教育・福祉 専門課程	こども学科 昼間制 (3年制) 大学コース	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼	2592 単位時間	1548 単位時間	2808 単位時間	504 単位時間	0 単位時間	0 単位時間
			単位時間				
生徒総定員数 (こども学科の内数)		生徒実員	うち留学生数	専任教員数 (こども学科の内 数)	兼任教員数 (こども学科の内 数)	総教員数 (こども学科の内 数)	
120人		1人	0人	3人	19人	22人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照
学修支援等
(概要) 豊岡短期大学の科目履修に伴い、授業内でレポート作成や添削指導などをおこなっている。また、スクーリングなどでも単位を修得し易いよう、履修の方法など随時、担任と学生で面談をしながらおこなっている。 また、敷地内にある小金井市認可保育園である東京工学院きしゃぼぼ保育園主催の子育て応援サークル「ちびっこどんぶり」や毎年学生が主体となって開催するイベント「こどもまつり」にて在学中に保護者と子どもとの関わりを多く取り入れている。

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
教育・社会福祉		教育・福祉 専門課程	こども学科 昼間制 (3年制) 保育士・幼 稚園教諭2種コース	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼	2592 単位時間	1296 単位 時間	2448 単位 時間	396 単位 時間	0 単位時 間	0 単位 時間
			単位時間				
生徒総定員数 (こども学科の内数)		生徒実員	うち留学生数	専任教員数 (こども学科の内 数)	兼任教員数 (こども学科の内 数)	総教員数 (こども学科の内 数)	
120人		2人	0人	3人	19人	22人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1. を参照
成績評価の基準・方法
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3. を参照
卒業・進級の認定基準
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4. を参照
学修支援等
(概要) 豊岡短期大学の科目履修に伴い、授業内でレポート作成や添削指導などをおこなっている。また、スクーリングなどでも単位を修得し易いよう、履修の方法など随時、担任と学生で面談をしながらおこなっている。 また、敷地内にある小金井市認可保育園である東京工学院きしゃぼっぽ保育園主催の子育て応援サークル「ちびっこどんぶり」や毎年学生が主体となって開催するイベント「こどもまつり」にて在学中に保護者と子どもとの関わりを多く取り入れている。

2022年度 こども学科として

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
3人 (100%)	0人 (0%)	3人 (100%)	0人 (0%)
（主な就職、業界等） 株式会社こどもの森 府中白糸台幼稚園			
（就職指導内容） 現場実習における依頼の段階から就職活動がスタートしているという意識付けをしている。 現場実習中の取り組む姿勢や子どもとの関わり方が評価され、卒業後に実習先へ就職するケースが多い。			
（主な学修成果（資格・検定等）） 保育士資格、幼稚園教諭2種免許、キャンプインストラクター、BLS（心肺蘇生法）			
（備考）（任意記載事項） 保育士資格や幼稚園教諭2種免許は、豊岡短期大学との併修により取得。			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
12人	4人	33.3%
（中途退学の主な理由） 進路変更 進学 経済的な問題		
（中退防止・中退者支援のための取組） 定期的な個人面談と適宜、個人面談・保護者面談の実施し、本人と家庭の意向を基に、学生個人の方向性を明確にする。 また、必要に応じてスクールカウンセラーに相談を薦める。		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
教育・社会福祉		教育・福祉 専門課程	幼児保育学科 昼間制 (2年制) 保育士・幼稚園教諭2種コース	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1728 単位時間	1188 単位時間	2088 単位時間	432 単位時間	0 単位時間	0 単位時間
			単位時間				
生徒総定員数 (幼児保育学科の内 数)		生徒実員	うち留学生数	専任教員数 (幼児保育学科の内 数)	兼任教員数 (幼児保育学科の内 数)	総教員数 (幼児保育学科 の内数)	
80人		9人	0人	6人	19人	25人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1. を参照
成績評価の基準・方法
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3. を参照
卒業・進級の認定基準
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4. を参照
学修支援等
(概要) 指定保育士養成施設としての認定学科。卒業時に本校より保育士資格の授与が可能。豊岡短期大学の科目履修に伴い、授業内でレポート作成や添削指導などをおこなっている。また、スクーリングなどでも単位を修得し易いよう、履修の方法など随時、担任と学生で面談をしながらおこなっている。 また、敷地内にある小金井市認可保育園である東京工学院きしゃぼっぽ保育園主催の子育て応援サークル「ちびっこどんぶり」や毎年学生が主体となって開催するイベント「こどもまつり」にて在学中に保護者と子どもとの関わりを多く取り入れている。

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
教育・社会福祉		教育・福祉 専門課程	幼児保育学科 昼間制 (2年制) 大学コース	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1728 単位時間	1260 単位時間	2088 単位時間	432 単位時間	0 単位時間	0 単位時間
			単位時間				
生徒総定員数 (幼児保育学科の内 数)		生徒実員	うち留学生数	専任教員数 (幼児保育学科の内 数)	兼任教員数 (幼児保育学科の内 数)	総教員数 (幼児保育学科 の内数)	
80人		6人	0人	6人	19人	25人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照
学修支援等
(概要) 併修先の大学の科目履修に伴い、授業内でレポート作成や添削指導などをおこなっている。また、スクーリングなどでも単位を修得し易いよう、履修の方法など随時、担任と学生で面談をしながらおこなっている。 また、敷地内にある小金井市認可保育園である東京工学院きしゃぼぼ保育園主催の子育て応援サークル「ちびっこどんぶり」や毎年学生が主体となって開催するイベント「こどもまつり」にて在学中に保護者と子どもとの関わりを多く取り入れている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
※2022年度 幼児保育学科の状況			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
0人 （%）	0人 （%）	0人 （%）	0人 （%）
（主な就職、業界等）			
<p>（就職指導内容） 現場実習の依頼の段階から就職活動がスタートしていると意識付けをしている。 現場実習中の取り組む姿勢や子どもとの関わり方が評価され、卒業後に実習先へ就職するケースが多い。</p>			
<p>（主な学修成果（資格・検定等）） 保育士資格、キャンプインストラクター、BLS（心肺蘇生法）</p>			
<p>（備考）（任意記載事項） 幼稚園教諭2種免許は、豊岡短期大学との併修により取得。</p>			

中途退学の現状 ※2022年度 幼児教育学科の状況		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
8人	0人	0%
（中途退学の主な理由）		
<p>（中退防止・中退者支援のための取組） 定期的な個人面談と適宜、個人面談・保護者面談の実施し、本人と家庭の意向を基に、学生個人の方向性を明確にする。 また、必要に応じてスクールカウンセラーに相談を薦める。</p>		

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
※2022年度 幼児教育学科の状況			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
5人 (100%)	0人 (0%)	4人 (80.0%)	1人 (20.0%)
（主な就職、業界等） AIAI チャイルドケア株式会社 株式会社こどもの森 二葉むさしヶ丘学園			
（就職指導内容） 現場実習の依頼の段階から就職活動がスタートしていると意識付けをしている。 現場実習中の取り組む姿勢や子どもとの関わり方が評価され、卒業後に実習先へ就職するケースが多い。			
（主な学修成果（資格・検定等）） 保育士資格、キャンプインストラクター、BLS（心肺蘇生法）			
（備考）（任意記載事項） 幼稚園教諭2種免許は、豊岡短期大学との併修により取得。			

中途退学の現状 ※2022年度 幼児教育学科の状況		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
6人	0人	0%
（中途退学の主な理由）		
（中退防止・中退者支援のための取組） 定期的な個人面談と適宜、個人面談・保護者面談の実施し、本人と家庭の意向を基に、学生個人の方向性を明確にする。 また、必要に応じてスクールカウンセラーに相談を薦める。		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
教育・社会福祉		教育・福祉 専門課程	公務員科 昼間制 (2年制) 公務員コース	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1728 単位時間	1548 単位時間	0 単位時間	288 単位時間	0 単位時間	0 単位時間
			単位時間				
生徒総定員数 (公務員科の内数)		生徒実員	うち留学生数	専任教員数 (公務員科の内数)	兼任教員数 (公務員科の内数)	総教員数 (公務員科の内 数)	
40人		5人	0人	1人	11人	12人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照
学修支援等
(概要) 担任はもちろん、講師の先生にも協力を仰ぎ、情報共有の徹底を心掛けながら学生指導に取り組んでいる。学生たちの遅刻・欠席・授業態度など彼らの些細なメッセージを見逃さないようにしている。1年に2回以上の個人面接を実施し、学習意欲や学生生活全般の聞き取りを行っている。また、スクールカウンセラーが常駐しており、学生自らがカウンセリングを受けることができる。

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
教育・社会福祉		教育・福祉 専門課程	公務員科 昼間制 (2年制) 大学コース	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1728 単位時間	1764 単位時間	0 単位時間	288 単位時間	0 単位時間	0 単位時間
			単位時間				
生徒総定員数 (公務員科の内数)		生徒実員	うち留学生数	専任教員数 (公務員科の内数)	兼任教員数 (公務員科の内数)	総教員数 (公務員科の内 数)	
40人		4人	0人	1人	14人	15人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照
学修支援等
(概要) 担任はもちろん、講師の先生にも協力を仰ぎ、情報共有の徹底を心掛けながら学生指導に取り組んでいる。学生たちの遅刻・欠席・授業態度など彼らの些細なメッセージを見逃さないようにしている。1年に2回以上の個人面接を実施し、学習意欲や学生生活全般の聞き取りを行っている。また、スクールカウンセラーが常駐しており、学生自らがカウンセリングを受けることができる。

2022年度 公務員科として

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
3人 (100%)	0人 (0%)	3人 (100%)	0人 (0%)
(主な就職、業界等) 御前崎市消防本部 自衛隊(一般曹候補生) 東京都(Ⅲ種事務)			
(就職指導内容) ・授業時や本校キャリアセンターにおける面接・マナー指導や履歴書添削 ・職場見学や自衛隊説明会の実施			
(主な学修成果(資格・検定等)) ・ビジネス能力検定(B検) ジョブパス 2・3級			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
5人	0人	0%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組) 定期的な個人面談と適宜、個人面談・保護者面談の実施し、本人と家庭の意向を基に、 学生個人の方向性を明確にする。 また、必要に応じてスクールカウンセラーに相談を薦める。		

②学校単位の情報

a)「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料(年間)	その他	備考(任意記載事項)
電気電子学科 昼間制 (2年制) 電気工学コース 電子技術コース 大学コース	200,000 円	650,000 円	330,000 円	
航空学科 昼間制 (2年制) パイロットコース 大学コース	200,000 円	670,000 円	330,000 円	
建築学科 昼間制 (2年制) 建築設計コース 建築施工コース 情報&環境建築コース 一級建築士・大学コース	200,000 円	650,000 円	330,000 円	
インテリアデザイン科 昼間制 (2年制) インテリアデザインコース 大学コース	200,000 円	520,000 円	330,000 円	
情報システム科 昼間制 (2年制) ITエンジニアコース AIシステムコース ICTクリエイターコース ITスペシャリスト・大学コース	200,000 円	650,000 円	330,000 円	
経営情報科 昼間制 (2年制) やりたいことを仕事にするコース マネジメントエキスパートコース SDGsビジネスコース 大学コース	200,000 円	620,000 円	330,000 円	
法律情報科 昼間制 (2年制) 法律情報コース 大学コース	200,000 円	620,000 円	330,000 円	
大学併修学科 昼間制 (4年制)	200,000 円	650,000 円	330,000 円	
コンサート・イベント科 昼間制 (2年制) イベント企画コース ステージ制作コース ステージ音響コース ステージ照明コース イベントビジネス・大学コース	200,000 円	720,000 円	330,000 円	
映像メディア学科 昼間制 (2年制) 放送メディアコース 動画クリエイターコース 映像ビジネス・大学コース	200,000 円	720,000 円	330,000 円	
音響芸術科 昼間制 (2年制) 音響芸術コース 大学コース	200,000 円	720,000 円	330,000 円	
CGクリエイター科 昼間制 (2年制) CGクリエイターコース 大学コース	200,000 円	670,000 円	330,000 円	
デザイン科 昼間制 (2年制) グラフィックデザインコース WEBデザインコース 大学コース	200,000 円	670,000 円	330,000 円	
声優・演劇科 昼間制 (2年制) 声優コース 俳優コース 大学コース	200,000 円	650,000 円	330,000 円	
スポーツビジネス科 昼間制 (2年制) スポーツトレーナーコース スポーツインストラクターコース スポーツマネジメントコース サッカーエキスパートコース 大学コース	200,000 円	650,000 円	330,000 円	
ミュージック科 昼間制 (2年制) ヴォーカル&シンガーソングライターコース プレイヤーコース サウンドデザイナーコース 大学コース	200,000 円	650,000 円	330,000 円	
ゲームクリエイター科 昼間制 (2年制) ゲームクリエイターコース おもちゃクリエイターコース 大学コース	200,000 円	670,000 円	330,000 円	
アニメ・マンガ科 昼間制 (2年制) アニメーションコース マンガコース イラストレーションコース 大学コース	200,000 円	670,000 円	330,000 円	
教育専攻科 昼間制 (4年制) 幼稚園教諭1種コース 小学校教諭1種コース 保健体育教諭1種コース	200,000 円	822,000 円	330,000 円	
こども学科 昼間制 (3年制) こども英語コース こども音楽コース こどもスポーツコース 大学コース	200,000 円	742,000 円	365,000 円	
こども学科 昼間制 (3年制) 保育士・幼稚園教諭2種コース	円	742,000 円	365,000 円	3年生のみ在籍
幼児保育学科 昼間制 (2年制) 保育士・幼稚園教諭2種コース 大学コース	200,000 円	770,000 円	380,000 円	
公務員科 昼間制 (2年制) 公務員コース 大学コース	200,000 円	450,000 円	330,000 円	
修学支援(任意記載事項)				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法		
(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) 2021年度評価について、学校HPに公開している。 (掲載: https://www.technosac.jp/department/syllabus/)		
学校関係者評価の基本方針(実施方法・体制)		
2021年度～2022年度 5名の委員を選出し学校関係者評価委員会を組織済み。 各位委員の知見を生かし教育内容・学校運営等について評価を実施する。 評価内容を理事会、ボード会、教務委員会に報告し、次年度以降に取り組む。		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
NPO法人 理事長	2021.10.1 ～2023.9.30	団体
木材会社 代表取締役	2021.10.1 ～2023.9.30	企業(卒業生)
アプリケーション開発会社 代表取締役	2021.10.1 ～2023.9.30	企業
映像制作機材レンタル会社 営業部長	2021.10.1 ～2023.9.30	企業
サッカースクール 代表取締役	2022.3.1 ～2023.9.30	企業(卒業生)
学校関係者評価結果の公表方法		
(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) 2022年3月に委員会を開催、2020年度評価をHPで公開している。 (掲載: https://www.technosac.jp/department/syllabus/)		
第三者による学校評価(任意記載事項)		

c) 当該学校に係る情報

ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) HPアドレスは https://www.technosac.jp/eng/ 資料請求は https://www.school-go.info/19gi13/technosac/form.php?fno=1&fsno=1&nno=72
--

(別紙)

※ この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。

※ 以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「-」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校コード	H113321000016
学校名	東京工学院専門学校
設置者名	学校法人田中育英会

1. 前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者（家計急変による者を除く）		89人	88人	89人
内 訳	第Ⅰ区分	52人	54人	
	第Ⅱ区分	25人	23人	
	第Ⅲ区分	12人	11人	
家計急変による支援対象者（年間）				0人
合計（年間）				89人
(備考)				

※ 本表において、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第49号）第2条第1項第1号、第2号、第3号に掲げる区分をいう。

※ 備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

2. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

(1) 偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0人
----	----

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等		
	年間	前半期	後半期
修業年限で卒業又は修了できないことが確定	0人	0人	0人
修得単位数が標準単位数の5割以下 (単位制によらない専門学校にあつては、履修科目の単位数が標準時間数の5割以下)	0人	0人	0人
出席率が5割以下その他学修意欲が著しく低い状況	0人	0人	0人
「警告」の区分に連続して該当	0人	0人	0人
計	0人	0人	0人
(備考)			

上記の(2)のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であつて、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遑つて認定の効力を失った者の数

右以外の大学等		短期大学(修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。)、高等専門学校(認定専攻科を含む。)、及び専門学校(修業年限が2年以下のものに限る。)			
年間	0人	前半期	0人	後半期	0人

(3) 退学又は停学（期間の定めのないもの又は3月以上の期間のものに限る。）の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	0人
3月以上の停学	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

3. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

停学（3月未満の期間のものに限る。）又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

3月未満の停学	0人
訓告	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

4. 適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修得単位数が標準単位数の6割以下 (単位制によらない専門学校にあつては、履修科目の単位数が標準単位数の6割以下)	0人	0人	0人
GPA等が下位4分の1	-	0人	-
出席率が8割以下その他学修意欲が低い状況	-	0人	-
計	-	0人	-
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。